

## 『私設社会事業』主要事項索引

### 凡例

1. 本主要事項索引は、『私設社会事業』誌に掲載された記事・論稿・情報などにつき、そのタイトルなどに見られる主題と思われる事項ごとに、五十音順に配列した。
2. 主題と思われる事項が複数にわたる場合は、複数箇所に掲載した。
3. 表記の順序は主題事項、タイトル、発行年（昭和）、月とした。なお、昭和13年6月のみは、15日発行の通常号のほか、臨時号が30日に発行されているので前者は13.6a、後者は13.6bとした。
4. 漢字等の読み方（氏名・地名など）は、一般的と思われるものに統一した。
5. 旧漢字は新漢字に改めた。ただし次の文字は、以下のような文字に改めた。  
聯→連 廿→二十 卅→三十
6. 仮名遣い・送り仮名は、原文通りとした。
7. 外来語については、基本的に原文通りとした。
8. 明らかな誤記・誤植については訂正した。

作成 寺脇 隆夫

〈あ〉

**愛育会**

遺族を保姆に 愛育会の講習 15.6

**愛生園**

真宗の信仰に燃え天刑病の看護に 松島嬢が愛生園へ  
14.12

**愛知県私設社会事業大会**

愛知県私設社会事業大会 11.11

**愛知県私設社会事業連盟**

愛知県私設連盟・保育連盟合同す 12.3

愛知県私設連盟 15.12

**愛隣学園**

愛隣学園(朝鮮)法人運動 16.3

**青山新七郎**

高田慈光院(三重)院長事務取扱に青山新七郎氏就任 18.1

**赤崎隣保館**

和光託児園→赤崎隣保館(鳥取県) 16.8

**アキシリング君**

アキシリング君渡米 14.5

**秋田観音講**

秋田観音講の住宅施設 16.8

**秋田県私設社会事業連盟**

秋田県私設社会事業連盟の結成 8.4

秋田県私設社会事業座談会 14.9

**秋田婦人ホーム**

秋田婦人ホーム 14.5

**浅草会館**

浅草会館増築竣工 16.1

**有栖川宮記念厚生資金**

有栖川宮記念厚生資金 本連盟加盟団体の光栄 17.5

**有馬二郎助**

留岡・有馬両先生逝く 9.3

**安房保育園**

安房保育園よりの来信 8.7

**安針塚**

安針塚へ詣るの記(鶴見欣次郎) 17.5

**安藤正純**

本連盟理事長更迭 丸山前理事長を顧問に戴き安藤先生を新  
理事長に迎ふ 13.6a

安藤理事長渡支 13.9

安藤理事長帰朝 13.10

中央改組問題と全連の態度 安藤理事長と広瀬厚相と懇談の  
結果 欣然一体化 14.3

事変処理と三民主義 今議会に於ける安藤理事長の論陣(安  
藤正純) 15.2

安藤理事長殆ど恢復 16.5

安藤正純氏の近著『政界を歩みつゝ』を読み(中山理々)  
18.3

〈い〉

**五十嵐喜広**

全連代議員五十嵐喜広氏ノ渡米 9.9

**育児事業**

法均尼の生涯 千二百年前の育児事業を偲ぶ(三輪政一)  
14.5

**育児事業団体**

西日本私設社会事業団体殊に育児事業団体を見学視察しての  
感想(田中泰輔) 9.1

**石井十次**

石井十次君を追憶す 偉大なる孤児の慈父(三輪政一) 14.9

**石川県私設社会事業連盟**

福井県・石川県・富山県私設社会事業連盟 8.7

**石川更新会**

石川更新会 8.9

**『異常児教育三十年』**

著書紹介 脇田良吉著『異常児教育三十年』 8.8

**一条秀美**

一条秀美氏代議員辞退 8.7

**茨城県協和会**

内鮮融和へ 茨城県協和会誕生 15.6

**茨城県私設社会事業連盟**

託児所保姆講習会開催・茨城県私設社会事業連盟 10.6

茨城県連盟 14.9

茨城県私設社会事業連盟 結核保養所建設計画 16.5

**茨城県社会事業家大会**

第二回茨城県社会事業家大会 9.7

**茨城県社会事業代表者会**

茨城県便り・茨城県社会事業代表者会 9.12

**茨城県社会事業連合会**

茨城県社会事業連合会新企画 15.2

**遺芳寮**

警察官子弟の修養保護施設・遺芳寮開設 8.9

**今井鉄城**

訃報・今井鉄城氏 18.9

**遺留失品払下運動**

遺留失品払下運動の経過報告 8.5

**医療国策**

医療国策と私設救療事業=対話の形式で書かれた論文(江草  
茂) 11.8

**医療新体制**

医療新体制来議会議案 小泉厚相答弁 16.11

**医療法案**

注目を要する医療法案に就て 国民医療の画期的改革案  
17.1

**医療法案要綱**

医療法案要綱 17.1

**医療保護懇談会**

医療保護懇談会 17.3

**医療保護事業**

医療保護事業に就て 結核、性病を中心として(中川生)  
11.2

東京私設連盟主催医療保護事業有志懇談会 医療保護法の徹  
底普及を意図し 16.9

厚生省小島事務官を困んで 私設医療保護事業懇談会 17.5  
医療保護事業当面の諸問題(丹羽昇) 18.1

**医療保護事業連絡委員会**

医療保護事業連絡委員会設置 16.2

全国私設医療保護事業連絡委員会内規 委員名簿 16.3

**医療保護団体**

全国医療保護団体の組織へ 18.2

**医療保護法**

医療保護法に関する件陳情 16.4

東京私設連盟主催医療保護事業有志懇談会 医療保護法の徹  
底普及を意図し 16.9

**医療保護法案**

医療保護法案・厚生大臣の提案理由説明 伊藤議員との問答  
16.2

医療保護法案 16.2

『医療保護法解説』

『医療保護法解説』出版 厚生事務官岡村周美著 16.12

医療保護法施行令

「医療保護法施行令」公布さる 16.8

医療保護連絡委員会

私設医療保護連絡委員会質疑概要（厚生省関係官との質疑）  
16.8

第四回私設医療保護連絡委員会（八月十四日） 16.8

<う>

宇山繁

本連盟常務理事 梅軒・宇山繁氏の逝去を悼む 13.1

宇山理事告別式 13.2

故宇山繁氏を憶ふ 13.2

瓜生岩子

瓜生岩子の廃品回収運動 本月二十九日の東北六県向けラヂ  
オ放送の概意（（華城）三輪政一） 16.11

<え>

得藤花保育園

得藤花保育園（滋賀県）新設 16.4

<お>

老の問題

老の問題に就て（相田良雄） 18.3

近江兄弟社

高松宮殿下「近江兄弟社」御視察 17.12

訃報・吉田悦蔵氏（近江兄弟社理事長） 17.12

近江基督教慈善教化財団、近江兄弟社と改称新発足 18.3

近江基督教慈善教化財団

近江基督教慈善教化財団、近江兄弟社と改称新発足 18.3

大阪朝日新聞社会事業団

大阪朝日新聞社会事業団講演会 9.4

大阪朝日新聞社会事業団改称 17.8

大阪鷺洲保育園

大阪鷺洲保育園拾週年記念式 8.7

大阪四恩学園

大阪四恩学園財団法人に 8.8

大阪市弘潤会

弘済会→大阪市弘潤会 16.8

大阪私設社会事業連盟

創立十周年を迎へ盛んな記念催しの大阪社会事業連盟 10.10

大阪私設連幹部会 16.4

大阪社会事業協会

クラブ室設置の機熟す 大阪社会事業協会に 8.3

大阪社会事業協会報告 8.7・8

非常時独逸の社会事業に関する座談会 大阪社会事業協会主  
催 8.11

電灯料軽減問題に就き市当局に折衝 大阪社会事業協会  
8.12

大阪社会事業協会報告抜萃 9.3

大阪社会事業協会総会 9.4

大阪社会事業協会定期総会開催 9.5

大阪便り 大阪社会事業協会 9.12、10.2

大阪社会事業協会役員神宮参拜 15.4

大阪修友会

大阪修友会 8.9

大阪府厚生会館

会館名称変更（大阪府社会事業会館→大阪府厚生会館） 17.12

大阪府私設社会事業連盟

大阪府私設連盟名称変更 15.6

大阪府私設社事連盟 15.12

消息（大阪府私設社会事業連盟の移転） 16.8

会館名称変更（大阪府社会事業会館→大阪府厚生会館） 17.12

大阪仏教和衷会

大阪仏教和衷会創立三十周年記念会 16.11

大谷繁次郎

大谷繁次郎氏「健康の里」を主宰 17.1

大原社会問題研究所

大原社会問題研究所袂別講演会 11.12

大森公亮

常任幹事決定 浅草寺病院長大森公亮氏 15.6

大森亮順

日本少年指導会長大森亮順氏に 15.6

オールツ翁

オールツ翁帰米 14.9

岡田寒衆

岡田寒衆の人口政策／百五十年前の多子家庭奨励（（華城）  
三輪政一） 16.4

岡村周美

『医療保護法解説』出版 厚生事務官岡村周美著 16.12

小川滋次郎

小川滋次郎博士を偲ぶ 温情溢れた社会事業指導者（三輪政  
一） 15.2

隠岐共生学園

隠岐共生学園創立十周年記念式諸行事 10.10

沖縄県社会事業大会

九州、沖縄、山口各県社会事業大会 11.9

小樽育成院

小樽育成院創立四十周年輝やく記念祭 六月十日盛大に举行  
13.7

尾道慈善会

尾道慈善会 結核救済事業へ 16.5

親子心中調査

警視庁管内昨年度の親子心中調査 12.2

恩赦記念保護デー

恩赦記念保護デー 9.9

<か>

カード階級

カード階級の仏事を無料で 京都仏法会決定 15.2

海外渡航助成会

海外渡航助成会十周年式 14.12

改正職業紹介法

新社会立法の解説（一）改正職業紹介法（編集部） 13.7

海津学舎

私立海津学舎十周年 8.6

科学的社會事業理論

科学的社會事業理論の確立へ（竹内愛二） 11.10

夏期林間幼稚園

夏期林間幼稚園及ラヂオ体操 8.8

学生義勇軍

学生義勇軍衛生隊大陸の医療に出動 14.5

各府県連盟の結成

各府県連盟の結成三十に達す 8.12

**鹿児島県社会事業懇談会**  
 鹿児島県社会事業懇談会 11.10  
**片山国嘉**  
 片山国嘉博士を追慕す 徹底せる『酒害予防運動』者（（華城）三輪政一） 15.12  
**片山哲**  
 片山哲氏の『第七十議会と社会立法』講演会 12.1  
**河東田教一**  
 訃報・河東田教一氏 18.2  
**角井義雄**  
 鳥取育児院を慰問 復興に角井義雄氏活躍 18.9  
**神奈川県私設社会事業懇話会**  
 神奈川県下に於ける私設社会事業の財源に関する調査（中間報告） 神奈川県私設社会事業懇話会 16.9  
**神奈川県連合保護会**  
 神奈川県連合保護会発会式 8.3  
**加能実修学校**  
 加能実修学校 14.7  
**鎌倉保育園**  
 鎌倉保育園 14.5  
**紙芝居**  
 紙芝居改善の急務（三輪政一） 8.11  
**カルナ学園**  
 施無畏・カルナ両学園（東京浅草寺）学芸会 16.11  
**河瀬晃昭**  
 河瀬晃昭君の戦死 14.1  
**簡易旅館**  
 簡易旅館へ宿泊する人達のことを考へると（芳野芳雄） 17.7  
**看護婦養成**  
 夜間看護婦養成所 京都施薬院で開校 15.2  
**関西近畿地方風水害地**  
 風水害地に使して（鶴見欣次郎） 9.10  
**関西近畿地方風水害被害**  
 関西近畿地方風水害被害調査 9.10  
**関西私設社会事業**  
 関西私設社会事業女子従事員錬成会開催さる！ 17.11  
**関西私設社会事業連盟**  
 関西私設社会事業連盟第四回総会 8.6  
 関西私設社会事業連盟委員会 8.10  
 関西連盟提出建議書内務大臣宛 司法大臣宛 8.7  
**関東私設社会事業連盟**  
 関東社会事業連盟 水戸で第一回大会 16.5  
**関東社会事業大会**  
 関東社会事業大会 9.8  
**関東洲社会事業協会**  
 満洲社会事業協会が会名変更 関東洲社会事業協会に 16.4  
**幹部錬成会**  
 幹部及女子従業員錬成会開催計画 16.2  
 〈き〉  
**紀元二千六百年記念** \* 皇紀二千六百年記念事業も見よ  
 紀元二千六百年記念 本院の植林事業（興水伊代吉） 15.1  
 紀元二千六百年記念 東京府社会事業大会に於ける祝辞（安藤正純） 15.7  
**紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会**  
 紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会 新緑の西都を飾る大絵巻 15.4  
 紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会 大会記録 宣言決議 委員長報告要旨 15.5

大会を顧みて（河東田教美） 15.5  
 大会決議事項処理報告（京都市で開催の紀元二千六百年記念全国大会） 15.6  
 両大臣諮問事項（紀元二千六百年記念全国社会事業大会） 15.8  
**紀元二千六百年式典**  
 紀元二千六百年式典に際し榮譽に輝く人々 15.11  
**寄稿家別会報要目一覧表**  
 寄稿家別会報要目一覧表（自昭和八年二月至昭和十七年四月）（一）～（三） 17.6～8  
**季節保育所創設費補助要綱**  
 北海道庁の季節保育所 創設費補助要綱決定 16.5  
**岐阜県私設社会事業連盟**  
 岐阜県私設社会事業連盟の結成 8.7  
 岐阜県私設社会事業連盟臨時総会 8.11  
 岐阜県私設社会事業連盟愈々活動を開始 8.12  
 岐阜県便り 9.6  
 岐阜県私設社会事業連盟 社会事業従事者の勤続勤功者表彰 10.3  
 第三回岐阜県私設社会事業連盟定期総会 10.7  
 岐阜県私設社会事業連盟第四回定期総会開かる 11.5  
 第六回岐阜県私設社会事業連盟総会 16.10  
**岐阜自助会**  
 岐阜自助会館長西脇政一氏岐阜市教育会ヨリ表彰サル 10.6  
**木村玄俊**  
 訃報・木村玄俊氏 18.2  
**『キャンプ』**  
 『キャンプ』るぼるたーじゅ（藤井円雄） 13.9  
**救急車設置協議会**  
 救急車設置協議会 8.6  
**救急車設置具体案**  
 救急車設置具体案成立 8.7  
**救護技術**  
 救護技術（院内外）に関する私見（蘆沢威夫） 11.7  
**救護施設**  
 救護施設現状への理解 行詰りを越へて（松島正儀） 11.1  
**救護法中改正**  
 救護法中改正要旨 12.12  
**九州社会事業大会**  
 九州、沖縄、山口各県社会事業大会 11.9  
**救貧より防貧へ**  
 救貧より防貧へ 社会事業と政治（安藤正純） 8.6  
**救貧立法**  
 我国最近の救貧立法とその『意義』（小島幸治） 12.8  
**救癩**  
 救癩文化講演会 12.2  
 救癩“一万床”達成 前途遼遠の観・長島愛生園長は語る 15.2  
**救癩史**  
 我国救癩史の決定線、三井報恩会の癩撲滅献金に就いて（中川幽芳） 12.1  
**救癩事業**  
 救癩事業促進座談会 11.11  
 救癩事業の将来（綱脇竜妙） 12.3  
**救療法**  
 大衆の要望する救療法に就いて（中川幽芳） 11.5  
 救療法の制定に就て（鉄谷長太郎） 12.8  
**業界回顧**  
 昭和十一年業界回顧（高木武三郎） 11.12

教化連合会  
教化連合会発会と朝鮮社会事業大会・三日勤政殿に行はる  
10.10  
行基菩薩  
行基菩薩 創見卓識の社会事業家（三輪政一） 14.10  
教護事業功労者  
教護事業功労者表彰さる 18.10  
共産部落見聞記  
共産部落見聞記（一）～（三）（鶴見欣次郎） 11.7～9  
共同募金  
米国に於ける共同募金の実況（上）（下）（小林政助） 8.8・9  
社会事業と共同募金に就いて（一）（二）（無堂生） 8.12、9.1  
米国共同募金の最近の情勢（福田愛蔵） 9.9  
京都私設社会事業  
京都私設社会事業の先覚者 田中泰輔翁逝く 9.4  
京都私設社会事業団体  
京都私設社会事業団体経営座談会 8.9  
京都私設社会事業連盟  
京都私設連盟記録より 8.3  
京都私設連盟總會 14.4  
京都私連の緊急決議 14.11  
京都私設役員懇談会 14.11  
京都私設社会事業連盟役員会 15.2  
京都私設社会事業連盟役員会 15.4  
京都私設連盟の活動 15.6  
京都府私設社会事業連盟 16.12  
京都社会事業報国会  
京都社会事業報国会 18.2  
京都施薬院  
夜間看護婦養成所 京都施薬院で開校 15.2  
京都施薬院協会  
京都施薬院協会創立四十五年式 16.4  
京都仏眼協会  
京都仏眼協会法人認可 16.3  
凶農地帯  
凶農地帯に温手を伸べよ！ 私設団体の活躍を要望す（冠頭  
言） 9.11  
清浦奎吾  
訃報・清浦奎吾伯爵薨去 17.11  
協和事業界  
協和事業界に望む（浜田光雄） 12.11  
挙国一致  
国民精神総動員の進行 挙国一致！ 堅忍持久！ 12.12  
基督教社会事業  
京阪神基督教社会事業者懇談会 11.11  
基督教社会事業協会  
東京基督教社会事業協会講演懇談会 11.11  
キリストの遺跡  
キリストの遺跡 青森県戸来村の話（上）（下）（鶴見欣次郎）  
14.11・12  
近畿私設社会事業協議会  
近畿私設社会事業協議会決議 13.2  
禁酒運動  
印度の禁酒運動 14.9  
勤労厚生機構  
勤労厚生機構の整備（桐原葆美） 18.8

<<>

空床利用事業  
空床利用事業 14.7  
久保寺光久  
八幡学園（千葉）新園長久保寺光久氏就任 18.1  
軍事援護  
軍事援護関係懇談会 15.8  
軍事扶助  
軍事扶助の手續 12.10  
軍事扶助の社会的性格（赤神良譲） 12.12  
軍事扶助法  
軍事扶助法の栞（編集部） 12.9  
軍事扶助法の諸問題 『救護』より『扶助』へ（大河内一男）  
12.12  
軍人遺家族援護団体  
各地公私設軍人遺家族援護団体の動き（編集部） 12.9  
軍人援護  
『軍人援護』に聖慮畏し優渥なる勅語を賜ふ 御内帑金三百  
万円下賜 13.10  
軍人援護会  
総裁に皇族殿下奉戴 軍人援護会を設立 民間各団体を包括  
統一 13.10  
軍人援護会片瀬臨海寮  
建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 軍人援護会片瀬  
臨海寮（神奈川県）増築落成式 17.3

<け>

警察官子弟  
警察官子弟の修養保護施設・遺芳寮開設 8.9  
競馬法改正  
競馬法の改正を遡りて 戒厳令下にある非常時議会 本連盟  
議会運動の経過 11.5  
競馬法改正を遡りて 特別委員会に於ける経過（議事速記録）  
11.6  
軽費診療  
凡ゆる事象を通し社会は軽費診療を要求してゐる（藤田逸男）  
12.4  
慶福会  
慶福会の助成金 15.2  
慶福会の助成金と奨励年金並に選奨 16.2  
慶福会の社会事業助成金と功労者には終身奨励年金 17.3  
慶福会の助成金、奨励金 18.1  
慶福会功労者選奨 本会関係は中田理事長外五名 18.1  
ケースワーク  
ケースワークに就て（小栗将江） 10.5  
『ケースワークの理論と実際』竹内愛二氏の近著を読む  
（谷川貞夫） 13.9  
結核救済事業  
尾道慈善会 結核救済事業へ 16.5  
結核保養所  
茨城県私設社会事業連盟 結核保養所建設計画 16.5  
結核予防  
結核予防の陣頭へ（結核予防会の看護婦養成所） 16.11  
結核予防会  
結核予防会／世界平和の道／八紘之基柱 14.5  
結核予防の陣頭へ（結核予防会の看護婦養成所） 16.11  
結核予防国民運動  
全国に呼びかける 結核予防国民運動計画樹立さる 11.10

結核予防国民運動振興講演会 11.11

**決戦機構**  
中央官庁の決戦機構 18.10

**決戦即応**  
決戦即応の配置(谷川貞夫) 18.10

**憲法発布五十年式典**  
輝く憲法発布五十年式典 勅語、近衛首相の謹話、内閣告諭・訓令 13.2

**健民運動**  
厚生省提唱健民運動の展開 五月一日より一億健康! 17.4  
健民運動児童愛護週間の実施 五月一日~五月八日 17.4  
『健民運動団体協議会』開催 17.7

〈こ〉

**小泉厚相答弁**  
医療新体制来議会議案 小泉厚相答弁 16.11

**交換機関**  
社会事業の調査と交換機関の設置 8.4

**交換事業**  
交換事業を語る 社会事業中央交換所 9.10

**交換事務**  
交換事務概況 社会事業交換の概念(第一集) 8.8  
交換局事務概況 8.9

**皇紀二千六百年記念事業**  
\* 紀元二千六百年記念も見よ  
皇紀二千六百年記念事業を起せ!(貴族院予算総会の速記録 抜萃)(丸山鶴吉) 10.3  
皇紀二千六百年記念事業・日本基督教会 14.10  
皇紀二千六百年記念事業・曹洞宗 14.10  
皇紀二千六百年記念事業・組合教会 14.10

**皇紀二千六百年記念大会**  
皇紀二千六百年記念大会開催 全連理事・代議員会 職員表彰の件 15.2

**皇軍慰問**  
北支皇軍慰問紀行(上)~(下)(鶴見欣次郎) 13.1・2・11  
中支皇軍慰問紀行(上)~(下)(鶴見欣次郎) 14.1・3・4

**皇軍慰問使**  
本連盟皇軍慰問使鶴見欣次郎氏よりの便り 12.11

**弘済会**  
弘済会→大阪市弘済会 16.8

**公私社会事業**  
公私社会事業の分野に関する私見(富田象吉) 11.1

**公私社会事業懇談会**  
公私社会事業懇談会・長崎 12.3

**厚生運動**  
社会事業と厚生運動(「全国民間社会事業経営者修練会」テキスト) 課題「厚生事業理念の攻究並に建設」(中田駿郎) 18.5

**厚生事業**  
“戦勝の春に魁け”厚生事業大同団結 三団体合同の協議会開催 18.1  
厚生事業の総力を集結して戦力増強に協力 戦時厚生事業緊急協議会開催さる 18.2  
決戦厚生事業の一つの構想 新潟県直江津町の新しき試み(牧賢一) 18.9

**厚生事業報国大会**  
大詔奉戴 厚生事業報国大会準備協議会の経過 17.1

**厚生事業理念**  
社会事業と厚生運動(「全国民間社会事業経営者修練会」テ

キスト) 課題「厚生事業理念の攻究並に建設」(中田駿郎) 18.5

**厚生思想**  
厚生思想の教育(河東田教美) 17.9

**厚生省**  
銃後の施設拡充 厚生省の創設に際し近衛首相語る 13.1  
厚生省とは何をする官庁か? 新省の輪郭 13.1  
私設社会事業の使命愈重大 厚生省設置と社会事業法制定(冠頭言) 13.4  
厚生省に生活課 結核課も誕生 14.4  
厚生省社会局関係と全連との懇談会開催 六月十六日丸ノ内会館で 16.7  
厚生省社会局を生活局と改称 16.7  
厚生省人口局・生活局官制実施(八月一日公布) 16.8

**厚生省予算**  
政府明年度予算内定 厚生省予算一億八千万円 15.12

**厚生道場**  
厚生道場開設 婦人セツルメント 17.8

**厚生問題研究発表会**  
同志社大学教授 厚生問題研究発表会開催 17.12

**高知県私設社会事業連盟**  
続々結成さる各県連盟 高知県私設社会事業連盟成る 10.3

**皇道主義社会事業**  
皇道主義社会事業の提唱(投稿)(本谷久二) 11.11

**興風会館**  
興風会館(千葉県)の事業 16.3

**神戸暉精寮**  
急告! 神戸暉精寮の火災 12.10

**神戸孤児院**  
神戸孤児院満五十年記念式 15.6

**神戸婦人同情会**  
神戸婦人同情会よりの来信 8.8  
神戸婦人同情会二十週年記念 10.3

**光明皇后**  
光明皇后様の御慈徳 尊貴の御身を以て親しく救護に御手を下し給ふ(三輪政一) 14.6

**神山復生病院**  
神山復生病院長永眠 15.12

**郡山子守学校**  
郡山子守学校 14.5

**国際社会事業大会**  
第三回国際社会事業大会の概況 アメリカ代議員の報告(牧賢一抄訳) 11.10

**国際連盟脱退**  
国際連盟脱退と勅書の煥発 勅書 総理大臣の告諭 8.4

**国民医療法**  
国民医療法に関する本連盟の運動日誌抄録 17.3

**国民医療法案**  
画期的戦時立法 国民医療法案への期待(横田忠郎) 17.3  
国民医療法案を巡りて本連盟運動の全貌 第一回私設医療社会事業懇談会(一月二十五日)概況 17.3

**国民健康保険法**  
国民健康保険法の解説(1)~(3) 新社会立法の解説(一)~(三)(編集部) 13.10~12

**国民健康保全**  
国民健康保全への積極的協力(冠頭言) 11.11

**国民浄化運動**  
社会事業の可変性と国民浄化運動への参加(冠頭言) 10.7

**国民生活安定**  
国民生活安定と結城財政(藤田進一郎) 12.3

## 国民生活安定費

第七十議会と国民生活安定費に就て（村松義朗） 12.1

## 国民精神作興週間

国民精神作興週間実施要綱（昭和一三・九・二二 次官会議決定） 13.10

## 国民精神総動員

国民精神総動員中央連盟成る！ 12.10

国民精神総動員と社会事業（高木武三郎） 12.10

日本の使命と国民精神総動員運動 12.11

国民精神総動員の進行 挙国一致！ 堅忍持久！ 12.12

国民精神総動員と私設社会事業家（其一）（其二）（冠頭言） 13.7・8

国民精神総動員新展開の基本方針 14.5

国民精神総動員運動の指導精神・筑紫理事長談 14.5

## 国民精神総動員運動

国民精神総動員運動の進行 12.11

国民精神総動員運動実行方針・昭和十五年度 14.12

## 国民精神総動員中央連盟

国民精神総動員中央連盟成る！ 12.10

国民精神総動員中央連盟声明 13.2

## 国民優生法

国民優生法の施行について（国民優生資料第二号） 16.8

## 国領夏期児童転住所

国領夏期児童転住所の事ども（鶴見欣次郎） 10.8

## 興水伊代吉

興水伊代吉氏表彰 13.10

## 子宝家庭

子宝家庭へ育英資金 15.12

## 国家総動員

国家総動員と社会事業の使命（冠頭言） 12.9

## 呉同済義会

社会事業の助長制度と呉同済義会の組織について 9.5

## 子供の家

子供の家（愛知県）創立二十年式典 15.6

## 近衛首相

首相の決意 近衛首相談話 12.12

新春、首相の第一声 本年の行動こそ世界的意義〔近衛首相談〕 13.1

輝く憲法発布五十年式典 勅語、近衛首相の謹話、内閣告諭・訓令 13.2

## 小橋実之助

噫！ 小橋実之助氏 8.7

## 金比良町昭和園

佐世保便り・佐世保託児所 金比良町昭和園の移転 9.12

## <さ>

### 済生会

済生会々員章の御親授式 14.5

済生会三十周年記念式典 16.5

### 埼玉県私設社会事業連盟

埼玉県私設社会事業連盟 14.12

### 埼玉自彊会

埼玉自彊会 8.8

### 最低生活標準

米国及加奈陀両国の直面しつつある労働階級に投影する最低生活標準の恢復（全米社会事業大会ノ歓迎挨拶）（メリー・ヴァン・クレッキ） 10.8

### 歳末救済資金

市社会局の歳末救済資金三万五千円に決定 11.12

## 歳末御下賜金

社会事業団体へ歳末御下賜金 10.1

## 佐伯祐正

佐伯祐正氏常務理事に就任 15.10

## 佐賀県私設社会事業連盟

続々結成さる各県連盟 新結成 佐賀県私設連盟生る 10.3

## 坂巻頭三

坂巻頭三氏逝去 8.3

## 佐賀養老院

佐賀養老院々長高閑者知一氏就任 18.1

## 桜ヶ丘保養院

桜ヶ丘保養院（東京方面事業協会）開院式 方面委員醸金の結晶 16.11

## 佐世保託児所

佐世保便り 佐世保託児所創立十五周年記念会 9.11

佐世保便り・佐世保託児所 金比良町昭和園の移転 9.12

佐世保託児所二十周年記念式 14.9

## 札幌遠友夜学校

『教師懇談会』の成立 札幌遠友夜学校 16.1

新体制と札幌遠友夜学校（高倉新一郎） 16.1

## 札幌市社会事業懇談会

札幌市社会事業懇談会 8.8

## 札幌市社会事業団体協議会

札幌市社会事業団体協議会 14.9

## 札幌市社会事業団体懇談会

第八回札幌市社会事業団体懇談会 8.9

## 札幌報恩学園

札幌報恩学園附属恩賜記念農園開園式挙行 10.10

悦びの集い 札幌報恩学園 16.1

## 札幌養老院

札幌養老院 14.9

## 里子事業

里子事業（原善太郎） 17.9

## 佐野育成館

佐野子守学校改称（→佐野育成館、栃木県） 18.3

## 佐野子守学校

佐野子守学校改称（→佐野育成館、栃木県） 18.3

## 猿江善隣館

猿江善隣館（東京深川）十一周年記念式 16.11

## 賛育会

財団法人賛育会増築落成式 12.2

## 賛育会石島病院

建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 賛育会石島病院（東京深川）開院式 17.3

## 三火会

三火会会員栄転祝賀会並に歓迎会 11.12

## 産業組合

農村と産業組合（稲村隆一） 13.8

## 産業報国運動

産業報国運動と厚生事業（広崎真八郎） 16.1

## 産児調節

社会施設としての産児調節（石本静枝） 12.7

## 三団体合同

“戦勝の春に魁け” 厚生事業大同団結 三団体合同の協議会開催 18.1

## 三民主義

事変処理と三民主義 今議会に於ける安藤理事長の論陣（安藤正純） 15.2

## 三陸震災

三陸震災地慰問記（北越戒定・武田慧宏） 8.3

三陸震災海嘯慰問報告（北越戒定・武田慧宏） 8.3

## <し>

### 寺院境内地問題

寺院境内地問題と社会事業 14.11

全連より各地方連盟へ発した境内地使用問題の通牒 京都私連の緊急決議 14.11

寺院境内地問題に関する陳情 15.1

### 滋賀県育児院

滋賀県育児院三十周年記念式 8.6

滋賀県育児院 湘南学園と改称 12.1

### 滋賀県私設社会事業連盟

滋賀県私設懇談会 14.11

滋賀県私設社会事業連盟 14.12

### 時局

時局に際し社会事業界を省る（高木武三郎） 13.9

### 時局社会事業

時局社会事業審議会 15.8

### 時局審議会

時局審議会要綱 15.8

### 慈光学園

慈光学園（東京南千住）託児部新設 16.3

### 静岡県社会事業委員

静岡県の社会事業委員 14.5

### 静岡県下社会事業

静岡県下社会事業関係協議打合せ 16.5

### 静岡県私設社会事業連盟

静岡県私設連盟の結成 9.8

続々結成さる各県連盟 静岡県私設連盟の結成 10.3

### 静岡県社会事業代表者懇談会

静岡県社会事業代表者懇談会開催 8.8

### 静岡大火

静岡大火罹災報告 15.2

### 至誠会病院

至誠会病院 14.9

### 私設医療社会事業懇談会

国民医療法案を巡りて本連盟運動の全貌 第一回私設医療社会事業懇談会（一月二十五日）概況 17.3

国民医療法案を巡りて本連盟運動の全貌 第二回私設医療社会事業懇談会（三月七日） 17.3

### 私設救療事業

医療国策と私設救療事業＝対話の形式で書かれた論文（江草茂） 11.8

私設社会事業の死活問題（海野幸徳） 8.6

私設社会事業経営研究座談会 8.8

私設社会事業と経済的保障（冠頭言） 8.11

三井の美挙を私設社会事業の陣営から眺めて（高木武三郎） 8.11

私設社会事業将来の開拓（一）～（五）（篠崎篤三） 9.4～8

私設社会事業の再認識と社会事業教育運動の必要（冠頭言） 9.5

『私設社会事業とは何ぞや』と言ふ事に就いての私見（村松義朗） 10.8

私設社会事業の将来（小島幸治） 11.11

私設社会事業の検討題目（上山善治） 12.1

私設社会事業の権威の為に（牧賢一） 12.1

新春を迎へ私設社会事業に望むもの（生江孝之／三田谷啓） 12.1

米国の私設社会事業（上）（下）（宮古二郎） 12.3・4

私設社会事業 質の転換（轟三四郎） 12.9

私設社会事業の行衛（谷川貞夫） 13.2

私設社会事業の使命愈重大 厚生省設置と社会事業法制定（冠頭言） 13.4

私設社会事業の行く道 社会事業法制定の意義と私設社会事業家の態度（冠頭言）（安藤正純） 13.6a

私設社会事業雑感（藪季光） 15.4

私設社会事業の特性（木山十影） 15.4

時局下私設社会事業の強化充実の急務と其調査 15.7

### 私設社会事業運営指針

私設社会事業運営指針 15.11

### 私設社会事業家

私設社会事業家へ終身年金 9.11

私設社会事業家気魄の吟味（松島正儀） 12.3

待望の私設社会事業家の集ひ！ 第五回全国私設社会事業大会が名古屋市に於て 12.4

私設社会事業家の精神的態度（中田駿郎） 12.5

国民精神総動員と私設社会事業家（其一）（其二）（冠頭言） 13.7・8

### 私設社会事業家懇談会

一府十県私設社会事業家第一回懇談会開催 11.12

### 私設社会事業家大会

私設社会事業家大会迫る（冠頭言） 12.4

### 私設社会事業経営状況

私設社会事業経営状況 全日本私設社会事業連盟調査部調査 15.10

### 私設社会事業経営難の助成の申請

私設社会事業経営難の助成の申請 社会局長官宛 8.10

### 私設社会事業国庫助成

私設社会事業国庫助成増額 社会事業助成法制定（貴・予算委質問）（丸山鶴吉） 12.4

### 私設社会事業財源

私設社会事業財源確立方策 16.2

### 私設社会事業従業員恩給財団

私設社会事業従業員恩給財団設立確定 14.12

私設社会事業従業員恩給財団設立要綱 14.12

### 私設社会事業従業員の待遇

私設社会事業従業員待遇調査票に就いて 10.7

私設社会事業従業員の待遇について（三浦かつみ） 10.8

社会事業の能率と従業員待遇問題 10.10

年金組合加入六百人 待遇改善問題を示唆 16.3

### 『私設社会事業』主要記事

昭和十六年度『私設社会事業』主要記事 16.12

昭和十七年度『私設社会事業』主要記事 17.12

### 私設社会事業助成

私設社会事業助成監督に関する指示事項〔通牒〕 8.5

社会事業の普及と私設社会事業の助成増額に関する質問（貴・予算委質問）（関屋貞三郎） 12.4

### 私設社会事業振興

私設社会事業振興委員会及私設社会事業財源委員会設置要綱 決定す 16.7

### 私設社会事業大会

私設社会事業大会決議事項処理 15.12

### 私設社会事業の財源

私設社会事業の財源問題（一）（二）（高木武三郎） 11.2・3

私設社会事業の財源（岡弘毅） 12.4・5

神奈川県下に於ける私設社会事業の財源に関する調査（中間報告） 神奈川県私設社会事業懇話会 16.9

### 私設社会事業の再検討

社会事業の民有公営と公有民営（私設社会事業の再検討）

(下松桂馬) 12.4  
**私設社会事業連盟**  
司法保護事業と私設社会事業連盟(武田慧宏) 8.2  
私設社会事業連盟の将来性に就いて(牧賢一) 12.3  
**私設社会事業連盟主事**  
辞任の挨拶(三谷此治) 14.3  
就任の挨拶(平野義一) 14.3  
主事就任の御挨拶(鍋田勇吉) 18.1  
**私設団体経営**  
私設団体経営危局に直面して 私設社会事業家の信念、団体の社会信任と惑雲の一掃(冠頭言) 11.5  
**私設団体経営問題**  
私設団体経営問題に就て(冠頭言) 8.7  
**私設団体従事員**  
私設団体従事員待遇調査 調査票御送付の依頼 9.2  
**私設団体従事員待遇調査**  
私設団体従事員待遇調査 調査票御送付の依頼 9.2  
私設団体従事員待遇調査票に就て(連盟調査部) 9.3  
**七里浜療養所**  
七里浜療養所落成 15.12  
**失業救済計画**  
市社会局の失業救済計画八十二万円を計上 12.2  
**失業者**  
失業者の協同組合(木立義道) 13.6a  
**四天王寺悲田院**  
四天王寺悲田院(大阪市)育児事業開始 16.3  
**児童愛護週間**  
健民運動児童愛護週間の実施 五月一日～五月八日 17.4  
**児童虐待防止法**  
児童虐待防止法実施期公布せらる 8.8  
児童虐待防止法実施に就て(鈴木生) 8.8  
**児童教化研究会**  
児童教化研究会設立せられんとす 9.8  
**児童保護**  
児童保護(女兒を主とした)の立場より防犯施設の拡大と現行刑法に就ての私見(中川幽芳) 11.8  
児童保護懇談会 14.4  
**児童保護会議**  
児童保護会議を終へて(長谷川良信) 14.10  
**児童保護問題**  
社会事業各分野を通して要望する児童保護問題(三田谷啓) 10.10  
**支那国民政府**  
支那国民政府の成立・徳政の意義・社会事業徒の責務 15.4  
**支那事変**  
支那事変と社会事業 12.11  
**辞任の挨拶**  
辞任の挨拶(三谷此治) 14.3  
**事変**  
事変下に於ける社会事業分野への提言(冠頭言)(其一)(其二) 13.9・10  
**司法省**  
司法省に保健局新設 初代局長は森山博士 15.12  
**司法保護**  
大阪地方の司法保護団体並に少年保護団体に対する御下賜金伝達式其他 10.3  
司法保護の教化的意義(松岡良友) 11.12  
風呂屋の元祖重源 司法保護の大先覚((華城)三輪政一) 16.10

**司法保護委員**  
司法保護委員 14.3  
**司法保護記念日**  
司法保護記念日 九月十三日盛大に挙行 16.9  
**司法保護協会**  
本派司法保護協会発会式 15.6  
**司法保護事業**  
司法保護事業と私設社会事業連盟(武田慧宏) 8.2  
司法保護事業に関し厚生司法当局に要望す(松岡良友) 15.6  
**司法保護事業研究会**  
大阪控訴院管内司法保護事業研究会 13.10  
**司法保護事業講習会**  
司法保護事業講習会 8.7  
**司法保護法**  
『司法保護法』制定の要望(武田慧宏) 9.1  
**司法保護法案**  
司法保護法案について 8.4  
**島根県私設社会事業連盟**  
島根県私設連盟の結成 8.4  
島根県連盟愈々確立 9.10  
**下関保護院**  
五十周年を迎へる下関保護院 14.5  
**社会教育主事会議**  
宗教学経営の社会事業奨励に関する件 社会教育主事会議に於ける鳩山文相の訓示中 8.6  
**『社会行政』**  
藤野恵・持永義夫著『社会行政』 12.11・12  
**社会局**  
厚生省社会局を生活局と改称 16.7  
**社会局長異動**  
社会局長異動 15.8  
**社会事業**  
方面委員と社会事業の関係(冠頭言) 8.3  
救貧より防貧へ 社会事業と政治(安藤正純) 8.6  
国家と社会事業(大林宗嗣) 12.4  
無産運動の目的と社会事業の関係(杉山元治郎) 12.7  
今次事変と社会事業(憂国生) 12.8  
社会事業とソロバン(早崎八洲) 12.8  
国民精神総動員と社会事業(高木武三郎) 12.10  
女性と社会事業 12.10  
事変下に於ける社会事業分野への提言(其一)(其二)(冠頭言) 13.9・10  
**社会事業家**  
社会事業家を遇するの道(冠頭言) 9.3  
**社会事業会館**  
社会事業会館へ注文する(牧賢一) 12.8  
**社会事業界**  
昭和十六年の社会事業界の回顧(大坂鷹司) 16.12  
時局に際し社会事業界を省る(高木武三郎) 13.9  
**社会事業家クラブ**  
社会事業家クラブ 先鞭は大阪 8.6  
**社会事業関係中央団体懇談会**  
社会事業関係中央団体懇談会 12.11  
**社会事業行政**  
社会事業行政の徹底を望む(冠頭言) 11.7  
**社会事業記録交換制度**  
中央指針(社会事業記録交換制度)(エル・ジ・ウッドベリー) 9.5  
**社会事業経営者修練会**  
第一回『全国民間社会事業経営者修練会』要綱 18.5

全国民間社会事業「経営者修練会」の記 18.6  
全国民間社会事業経営者修練会修了者名簿 18.6

**社会事業研究会**  
社会事業研究会を観る（高木武三郎） 16.10

**社会事業研究発表会**  
第一回社会事業研究発表会 16.9

**社会事業現業家**  
社会事業現業家の悩み（冠頭言） 12.7

**社会事業交換**  
社会事業交換事務研究懇談会 8.5  
交換事務概況 社会事業交換の概念（第一集） 8.8  
社会事業交換の概念（第二集） 8.10

**社会事業交換局**  
第五回理事会報告 連盟執務規定・社会事業交換局規定を決定 9.2  
社会事業交換局の事業は斯くして運転する！ 愈々三月一日より事業開始 9.3  
第一回交換局協議員会 9.3  
交換局登録加盟団体懇談会 9.3  
社会事業交換局制度の検討（一）～（四） 9.11・12、10.1・2

**社会事業交換所**  
社会事業交換所の躍進 9.1・3

**社会事業講習所**  
社会事業講習所設立の促進 12.8

**社会事業功労者**  
社会事業功労者に終身年金 8.7

**社会事業功労章**  
社会事業功労章受領者（本連盟関係） 厚生大臣表彰 15.10

**社会事業国策**  
社会事業国策性の再検討（中村遥） 18.9

**社会事業財源**  
社会事業恒久財源の確立と資金法制定の要望（三輪政一） 15.8

**社会事業財源委員会**  
私設社会事業振興委員会及私設社会事業財源委員会設置要綱決定す 16.7

**社会事業資金法**  
社会事業恒久財源の確立と資金法制定の要望（三輪政一） 15.8

**社会事業施設調整**  
社会事業施設調整の提唱（冠頭言） 11.9

**社会事業指導員**  
社会事業指導員 天台宗が各教区に 14.4

**社会事業指導精神**  
社会事業指導精神の展開（谷川貞夫） 18.6

**社会事業事務講習会**  
社会事業事務講習会 11.6

**社会事業従事員**  
急告 次号より社会事業従事員の求人・求職欄を設置 8.4  
私設社会事業従業員待遇調査票に就いて 10.7  
私設社会事業従業員の待遇について（三浦かつみ） 10.8  
社会事業従事員の生命線（投稿）（山田道雄） 11.8  
社会事業従業員敬擁問題 14.10  
社会事業職員表彰内規 14.10  
私設社会事業職員表彰に関する件 14.11  
私設社会事業従業員恩給財団設立確定 14.12  
私設社会事業従業員恩給財団設立要綱 14.12

**社会事業奨励**  
宗教家経営の社会事業奨励に関する件 社会教育主事会議に於ける鳩山文相の訓示中 8.6

**社会事業助成**  
経済難局と社会事業助成に就て（谷川貞夫） 8.11  
内務省社会事業助成規則制定参考案 9.1

**社会事業助成金**  
慶福会の社会事業助成金と功労者には終身奨励年金 17.3

**社会事業助成法**  
社会事業助成法の制定に就いて（牧賢一） 8.10  
社会事業助成法制定に関する建議案 12.3  
私設社会事業国庫助成増額 社会事業助成法制定（貴・予算委質問）（丸山鶴吉） 12.4

**社会事業精神**  
社会事業精神（上）（下）六月十四日満洲国留学生の為に（安藤正純） 14.6・7

**社会事業大会**  
社会事業大会常設委員会を組織せよ（牧賢一） 10.10  
大阪に社会事業大会を開催せよ（浜田光雄） 10.10  
比叡山で社会事業大会 11.6

**社会事業団体法**  
社会事業団体法制定の促進（冠頭言） 8.5

**社会事業中央交換所**  
交換事業を語る 社会事業中央交換所 9.10

**社会事業中枢機関統合問題**  
社会事業中枢機関統合問題に関して 本連盟の動向活潑ならんとす（厚生省生活局局長・課長との対談） 16.11

**社会事業調査**  
社会事業調査所感（大野木克彦） 12.1

**社会事業調査会**  
社会事業調査会の拡充 11.6

**社会事業デー**  
東京私設連盟主催『社会事業デー』迫る 8.2  
東京私設連盟の活躍 目撃に迫る社会事業デー 8.3  
社会事業デー趣旨 8.3  
社会事業デー 8.4  
社会事業デーに就いて（丸山鶴吉） 8.5  
『社会事業デー』の経過と二三の批判（牧賢一） 8.5  
各地の社会事業デー 8.5  
千葉県社会事業デー 8.6  
千葉県『社会事業デー』迫る 8.10  
兵庫県の『社会事業デー』 8.11  
千葉県第二回社会事業デー 8.11  
連続運動九日間 千葉県社会事業デー（久保寺保久） 8.12  
北海道社会事業デーの開催 9.4

**社会事業的法制**  
社会事業的法制の進向（新明正道） 12.3

**社会事業統制**  
国内社会事業統制への進言（冠頭言） 11.6  
社会事業統制に付て 16.1

**社会事業統制機関**  
社会事業統制機関に就いて 8.4

**社会事業統制協議会**  
社会事業統制協議会・山形県 11.6

**社会事業統制法**  
全連常設研究委員会の動向 懸案中の『社会事業統制法』の研究討議に入る 10.8  
社会事業統制法制定の促進（冠頭言） 11.2

**社会事業認可制**  
本格的になった社会事業認可制 8.4

**社会事業の技術**  
社会事業の技術以前と技術に就て（早田正雄） 12.3

## 社会事業の助長制度

社会事業の助長制度と呉同済義会の組織について 9.5

## 社会事業の新方策

社会事業の新方策に関する調査 16.2

『社会事業ノ新方策ニ関スル調査』について 16.4

## 社会事業の調査

社会事業の調査と交換機関の設置 8.4

## 社会事業の統合問題

社会事業の統合問題に就て（三輪政一） 16.10

## 社会事業の特質

我が国社会事業の特質 特に救護制度を中心として（本荘茂）  
12.4

## 社会事業病院

中華駐日大使社会事業病院を視る 16.5

## 社会事業普及日

社会事業普及日 16.7

## 社会事業文献賞

社会事業文献賞受賞者 18.10

## 社会事業分野の確立

社会事業分野の確立（冠頭言） 8.6

## 社会事業法

私設社会事業の使命愈重大 厚生省設置と社会事業法制定  
（冠頭言） 13.4

社会事業法の制定に当りて 官民の協力を要望す（丸山鶴吉）  
13.4

私設社会事業の行く道 社会事業法制定の意義と私設社会事業家の態度（冠頭言）（安藤正純） 13.6a

急告！社会事業法発布記念地方別講習会開催方通牒（冠頭言）  
（安藤正純） 13.6b

社会事業法（昭和十三年三月三十一日 法律第五十九号）  
13.6b

社会事業法に就て（灘尾弘吉） 13.6b

関係勅令・施行細則出づ！ 社会事業法を活かせ！ 13.6b

関西社会事業法施行記念懇談会 13.7

社会事業法に就て（要旨）（灘尾弘吉） 13.7

社会事業法は如何に運用せられるか？ 13.7

社会事業法運用に対する当局の用意（編集部） 13.7

社会事業法実施後ニ於テ発生スル私設団体ノ諸問題ニ関スル件（各私連宛 昭和十三年九月十二日） 13.9

社会事業法今後の課題（岡弘毅） 13.10

## 社会事業法案

今期議会社会事業関係法案に対する公文 8.4

待望の社会事業法案に送るの辞（冠頭言） 12.12

社会事業法案要綱 12.12

社会立法の積極化 社会事業法案・職業紹介法改正法案  
12.12

社会事業法案の審議を遶りて（全私社連盟編集部） 13.1

社会事業法案審議略録 13.1

社会事業法案立案ニ関スル陳情 13.1

社会事業法案愈々発表さる！ 代議員会を中心とするその後の運動経過（全私社連盟編集部） 13.2

社会事業法案 13.2

社会事業法案に就いて（厚生省） 13.7

社会事業法案の審議（一）～（五）衆議院委員会抄録（編集部） 13.6a・7・8・10・11

## 社会事業法案要綱

内務省原案（社会事業法案要綱） 13.1

社会事業法案要綱（原案及び修正案） 13.1

## 社会事業法施行期日ノ件

社会事業法施行期日ノ件（勅令第四百四十四号） 13.6b

## 社会事業法施行細則

社会事業法施行細則（厚生省令第十四号、昭和十三年六月二十九日） 13.6b

## 社会事業法第一条ノ規定ニ依ル事業指定

社会事業法第一条ノ規定ニ依ル事業指定ノ件（勅令第四百四十五号） 13.6b

## 社会事業法第十三条ノ規定ニ依ル市指定

社会事業法第十三条ノ規定ニ依ル市指定ノ件（勅令第四百四十六号） 13.6b

## 社会事業補助金

海野氏の社会事業補助金問題（岡定六） 8.8

## 社会事業本質

社会事業本質論（安部磯雄） 11.7

社会事業本質の強化に就いて（冠頭言） 12.3

## 社会事業立法

社会事業立法並に統制への要求（冠頭言） 10.6

## 社会事業理念

社会事業理念の確保（川上賢叟） 11.11

## 社会事業理論

社会事業理論の貧困（牧賢一） 10.7

## 社会事業臨時連合会

社会事業団体保護のため 社会事業臨時連合会を組織し免税運動に乗出す 12.1

## 社会省

社会省新設の機運！（冠頭言） 8.8

社会省設置に関する世論 8.8

## 社会政策

今後の社会政策（大内経雄） 14.4

## 社会病理

社会病理の研究 12.11

## 社会不安

現下の社会不安を如何にするか（衆議院緊急質問要旨）（安藤正純） 10.5

## 社会保健婦

社会保健婦大会 15.4

## 社会立法

社会立法の積極化 社会事業法案・職業紹介法改正法案  
12.12

## 社会連帯責任

民間社会事業と社会連帯責任に就て（前田利定） 8.6

## 松下村塾

今様松下村塾（鍋田勇吉） 18.2

## 衆議院緊急質問要旨

現下の社会不安を如何にするか（衆議院緊急質問要旨）（安藤正純） 10.5

## 従業員待遇

社会事業の能率と従業員待遇問題（冠頭言） 10.10

年金組合加入六百人 待遇改善問題を示唆 16.3

## 銃後後援強化週間

銃後後援強化週間実施要綱（昭和十三・八・四次官会議決定）  
13.9

## 銃後特別税制

銃後特別税制創設運動 12.10

銃後特別税制創設運動の精神 12.11

## 銃後の後援

支那事変銃後の後援並に扶助の徹底強化に就て（全国私設社会事業連盟） 12.9

## 銃後の施設

銃後の施設拡充 厚生省の創設に際し近衛首相語る 13.1

## 銃後の社会事業

銃後の社会事業（牧賢一） 12. 9

## 銃後の護り

帝都に於ける“銃後の護り”に観るもの（金熙明） 12. 11

## 銃後奉仕

東連加盟団体の銃後奉仕への進出状況 12. 9

## 終身奨励年金

慶福会の社会事業助成金と功労者には終身奨励年金 17. 3

## 終身年金

社会事業功労者に終身年金 8. 7

## 就任の挨拶

就任の挨拶（平野義一） 14. 3

## 就労青少年

就労青少年と厚生施設（大内経雄） 14. 10

## 宿泊事業

宿泊事業雑考（芳野芳雄） 17. 4

## 主事就任

主事就任の御挨拶（鍋田勇吉） 18. 1

## 主事の更迭

主事の更迭 14. 3

## 出動兵遺家族扶助

府市共同主催出動兵遺家族扶助各団連絡協議会 12. 9

## 淳心園

長崎便り・親岳に国旗を 淳心園の催し 9. 12

## 傷痕軍人

傷痕軍人は我等の手で（傷兵保護院） 13. 7

傷痕軍人は我等の手で 機械や工具を改造してでも傷痕軍人は元の職場へ（傷兵保護院） 13. 9・11

## 傷痕軍人遺家族

傷痕軍人遺家族の職業補導に完璧 陸軍で積極的斡旋 17. 4

## 上宮協会

上宮教会主催非常時……お盆の夕 8. 8

上宮教会四十週年を迎ふ 12. 11

聖徳太子奉讃無料診療 上宮教会で 16. 5

上宮教会（東京）主催夏季心身鍛錬会 16. 8

上宮教会満洲開拓者追悼会 17. 6

## 上智社会事業講座

上智社会事業講座開設 11. 11

## 湘南学園

滋賀県育児院 湘南学園と改称 12. 1

## 少年血盟団事件

敢えて社会の反省を求む！ 所謂少年血盟団事件に於ける弁護士中田駿郎氏の弁論 10. 9

## 少年工

少年工の教養指導も計画保護局の新規事業 15. 12

## 少年自治訓練所

少年自治訓練所としての米国フォード共和国（一） 10. 7

少年自治訓練所としての米国フォード共和国（二） 10. 8

## 少年審判所

全国に延びる少年審判所 更に仙台札幌にも設置 16. 3

## 少年犯罪

戦線佳話を裏切り少年犯罪増加 家庭の注意喚起 13. 10

## 少年不良化

『少年不良化の原因と其対策』 12. 7

## 少年法

少年法の一家言（峯南） 8. 5

## 少年法施行地域

少年法施行地域拡大 14. 7

## 少年保護

大阪地方の司法保護団体並に少年保護団体に対する御下賜金

伝達式其他 10. 3

『少年保護』を中心とする応用心理学会を聴く（松下余市） 16. 9

雑誌『少年保護』一月号を読み（橋本勝太郎） 18. 1

## 少年保護運動

少年保護運動を活潑に 少年保護法発令二十年 17. 4

## 少年保護記念日

時局下の少年保護記念日 16. 5

## 少年保護事業

少年保護事業の実際（石井敬一郎） 11. 3

## 少年保護法

少年保護運動を活潑に 少年保護法発令二十年 17. 4

## 少年保護問題

千葉県の少年保護問題大蔵省へ陳情（東京少年審判所管内編入促進ノ為メ） 8. 9

## 傷病兵

皇后陛下傷病兵に有難き御歌を賜ふ 13. 10

## 職業紹介事業

職業紹介事業に就て（鈴木僊吉） 11. 1

## 職業紹介法改正法案

社会立法の積極化 社会事業法案・職業紹介法改正法案 12. 12

## 職業的再教育

職業的再教育の急務 12. 11

## 職業補導

傷痕軍人遺家族の職業補導に完璧 陸軍で積極的斡旋 17. 4

## 女子従事員錬成会

幹部及女子従事員錬成会開催計画 16. 2

私設社会事業女子従事員錬成会予告 16. 5

私設社会事業女子従事員錬成会 聖地日光山に於て五十二名の参加 16. 7

「女子錬成会」後記 16. 7

第二回女子従事員錬成会計画 本連盟主催（十月二、三、四日） 16. 8

第二回私設社会事業女子錬成会 16. 9

関西女子従事員錬成会 指導員よりの願ひとたわごと（古田誠一郎） 16. 9

第二回私設社会事業女子従事員錬成会概況 生駒山青少年鍛錬道場に於て 16. 10

女子錬成会指導員後記二題 錬成会を省みて（脇田悦三） 16. 10

女子錬成会指導員後記二題 錬成会に臨んで（武田清子） 16. 10

女子錬成会参加者感想抄録 錬成されたよろこび（芳水暢子） 16. 10

女子錬成会参加者感想抄録 感想（失名氏） 16. 10

女子錬成会参加者感想抄録 所感（島文子） 16. 10

関西私設社会事業女子従事員錬成会開催さる！ 17. 11

北日本社会事業女子従事員錬成会（要綱） 18. 3

## 庶民金庫

巷に見る生活世相 庶民金庫から覗く 15. 12

## 白川楽翁

白川楽翁公の偉業 社会事業精神に満ちた政治家（三輪政一） 14. 11

## 私立海津学舎

私立海津学舎十週年 8. 6

## 信愛保育園

信愛保育園（京都）母子の家 16. 3

## 鍼灸講習

第三回鍼灸講習会開く 中央盲人福祉協会主催 17. 6

人口局  
厚生省に人口局を新設 人口国策二十年計画 16.3  
厚生省人口局・生活局官制実施（八月一日公布） 16.8

人口国策  
厚生省に人口局を新設 人口国策二十年計画 16.3

人口問題  
人口問題の将来と吾徒の分野（華城） 16.4

人口問題協議会  
人口問題協議会 16.11

震災  
震災の私の思ひ出（丸山鶴吉） 8.9

人事調停法  
人事調停法 14.3

新社会立法  
新社会立法の解説（一）改正職業紹介法（編集部） 13.7  
国民健康保険法の解説（1）～（3）新社会立法の解説（一）  
～（三）（編集部） 13.10～12

真宗  
真宗の信仰に燃え天刑病の看護に 松島嬢が愛生園へ 14.12

新体制  
新体制と社会事業人（高木武三郎） 15.8

人的資源  
人的資源と妊娠の摂生（細野尚是） 16.3  
『母性保護会』設立さる 人的資源確保の爲め全国婦人科医  
の臨戦体制 16.12

〈す〉

水上隣保事業  
水上隣保事業将来への期待（中村遥） 11.3

水難被害  
施設別水難被害総額調査表 13.8

水難紀行  
水難紀行（鶴見欣次郎） 13.9

巢鴨女子商業  
巢鴨女子商業（東京）十周年記念催し 16.11

〈せ〉

生活局  
厚生省社会局を生活局と改称 16.7  
厚生省人口局・生活局官制実施（八月一日公布） 16.8

生活局長  
厚生省生活局長、予防局長更迭 17.6

生活標準額  
生活標準額検討の必要（松本征二） 11.11

精神障碍児  
精神障碍児に於ける妥当なる認識と其適正なる処置 彼等に  
療護教養上の公平なる機会を与へよ（久保寺保久） 14.9

精神薄弱児  
精神薄弱児の心理学的分析（久保寺保久） 11.3

精神薄弱児童養護施設  
独逸に於ける精神薄弱児童養護施設 トリウベル治療教育院  
に就て（林蘇東） 16.4

税制改革  
税制改革に対する全連運動の概要 12.1

性病対策  
国民強健化と性病対策（乃木惇） 16.5

聖ヒルダ養老院  
山県つる女史（聖ヒルダ養老院）の美挙 17.4

聖路加国際医道院  
築地の聖路加国際医道院 8.7

積善会  
原田二郎翁の人格 積善会は如何にして出来たか（（華城）三  
輪政一） 15.8

セツルメント  
厚生道場開設 婦人セツルメント 17.8

施無畏学園  
施無畏・カルナ両学園（東京浅草寺）学芸会 16.11

全国医療保護事業報国会  
『全国医療保護事業報国会』結成さる 18.5  
附・全国医療保護事業報国会規約 18.5  
第一回八月四日 18.7

全国私設社会事業家大会  
第二回全国私設社会事業家大会執行順序（昭和九年一月二十  
日（土）二十一日（日）） 8.12  
第二回全国私設社会事業家大会此処旬日に迫る！ 9.1  
私設社会事業家大会の成果と連盟の進路（冠頭言） 9.2  
第二回全国私設社会事業家大会を反省す（牧賢一） 9.2  
第二回全国大会に於て来会者百人の御回答（一）（二）一、  
最も満足されしこと 二、最も不服なりしこと 三、次回  
開催の場合の注意 9.2・3  
第二回全国私設社会事業家大会 決議事項は如何に処理され  
つつあるか 9.8

全国私設社会事業協議会  
全国私設社会事業協議会迫る 私設現業陣容の整備充実と貧  
窮大衆への心物的活力の補強（冠頭言） 11.3  
全国社会事業協議会にのぞむ 11.3  
全国協議会特集号 11.4  
全国私設社会事業協議会議事録 11.4  
霏雪下の私設社会事業大会を視る（牧賢一） 11.4  
全国私設社会事業協議会を顧みて（富田象吉） 11.5

全国私設社会事業協議大会  
期待さるゝ第四回全国私設社会事業協議大会大綱成る 11.2  
全国私設社会事業協議大会開催計画 16.2  
全国協議大会予告（大会要綱決定） 16.3  
全国協議大会準備進捗 16.4  
第七回全国私設社会事業協議大会 式典・宣誓 16.6

全国私設社会事業大会  
待望の私設社会事業家の集ひ！ 第五回全国私設社会事業大  
会が名古屋市に於て 12.4  
過去の私設社会事業大会を顧みて（冠頭言） 12.5  
第五回全国私設社会事業大会提出議題 12.5  
第五回全国私設社会事業大会特集号 12.6  
若葉薫る金城下に開かれし全私社大会（谷川貞夫） 12.6  
大会余語 第五回全私社大会の反応と次期仙台大会への期待  
（谷川貞夫） 12.7  
第五回全国私設社会事業大会其の後の動き（奔走子） 12.7  
紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会 15.5

全国私設社会事業大会協議会  
大会協議会議事録 12.6

全国私設社会事業統制協議会  
全国私設社会事業統制協議会を迎ふるに際して（冠頭言）  
10.3  
全国協議会記念特集号 10.4  
祝辞（後藤文夫） 10.4  
講演（斎藤実） 10.4  
講演（丸山鶴吉） 10.4  
全国私設社会事業統制協議会議事録 10.4

**全国私設社会事業統制協議大会**  
待望せる大会 全国私設社会事業統制協議大会・主催全日本私設社会事業連盟 10. 2

**全国児童愛護運動**  
第十五回全国児童愛護運動 16. 5

**全国社会事業大会**  
第八回社会事業大会の開催に際し私設社会事業の過去を偲ぶ(相田良雄) 10. 10  
第八回全国社会事業大会“批判の一齣”(隅土満) 10. 11  
全国社会事業大会の状況 10. 11  
第九回全国社会事業大会 14. 12  
全国社会事業大会(今秋東京で開催) 15. 6  
両大臣諮問事項(紀元二千六百年記念全国社会事業大会) 15. 8  
全国社会事業大会宣言・決議 15. 11

**全国職業指導週間**  
全国職業指導週間 9. 11

**全国的統制機関**  
生るべき全国的統制機関(浜田光雄) 18. 7

**全国養老事業大会**  
第三回全国養老事業大会開催 9. 12

**戦時厚生事業**  
戦時厚生事業の展開 現実を規正するもの(谷川貞夫) 18. 1

**戦時厚生事業緊急協議会**  
厚生事業の総力を集結して戦力増強に協力 戦時厚生事業緊急協議会開催さる 18. 2

**戦時災害保護法案**  
戦時災害保護法案 非常時の備へ 17. 1

**戦時社会事業**  
戦時社会事業の方途(谷川貞夫) 12. 9  
戦時社会事業の国際性(山口正) 12. 11  
戦時社会事業の強化拡充に関する厚生次官通牒(昭和十八年三月十七日) 18. 5

**戦時体制確立協力会議**  
社会事業戦時体制確立協力会議設置案成る 大日本社会事業報国会の新しい方途を闡明! 17. 12

**戦時立法**  
画期的戦時立法 国民医療法案への期待(横田忠郎) 17. 3

**浅草寺病院**  
常任幹事決定 浅草寺病院長大森公亮氏 15. 6

**浅草本願寺**  
仏眼協会の内容整備 浅草本願寺の新計画 17. 8

**仙台基督教教育院**  
仙台基督教教育院創立三十周年記念式並に院舎移転新築落成式 11. 6  
仙台基督教教育院総会 14. 5

**全日本私設社会事業連盟**  
西日本連盟の沿革と全日本連盟の起原 8. 3  
全日本私設社会事業連盟の起源(前承) 8. 4  
全日本私設社会事業連盟常務理事会 理事会 代議員会 8. 7  
全日本私設社会事業連盟を大日本社会事業報国会と改称 規約改正 17. 8

**全日本私設社会事業連盟役員**  
連盟役員新陣容 8. 9

**全日本保育連盟**  
全日本保育連盟東京第一回総会 12. 2

**全日本方面委員連盟**  
全日本方面委員連盟の改組 12. 2

**全米社会事業大会**  
全米社会事業大会の盛況を見よ! 10. 7

米国及加奈陀両国の直面しつつある労働階級に投影する最低生活標準の恢復(全米社会事業大会ノ歓迎挨拶)(メリー・グハン・クレッキ) 10. 8

#### 戦歿者遺族指導要綱

戦歿者遺族指導要綱(軍事保護院援護局) 16. 1

#### 戦歿の英霊

畏し皇后陛下の御仁慈 戦歿の英霊に御歌 12. 12

#### 専門社会事業

専門社会事業とは何ぞや?(エル・エイ・ヘルバート)(一) ~ (四) 8. 12、9. 1・3・4

#### 全連

\*全日本私設社会事業連盟と同じ(略称)  
中央改組問題と全連の態度 安藤理事長と広瀬厚相の懇談の結果 欣然一体化 14. 3

#### 全連慈善興行相談部

全連慈善興行相談部の開始 11. 3  
慈善興行相談部開始に就て(再び) 11. 4  
慈善興行相談部遽に活気づく 11. 7  
慈善興行相談部開始に就て(三掲) 11. 7

#### 全連常設研究委員会

全連常設研究委員会生る 10. 7

#### <そ>

##### 相愛会館

相愛会館(東京本所)の解散 16. 4

##### 相愛学院

相愛学院生徒の献身 12. 11

##### 創刊を祝す

全日本私設社会事業連盟月報の創刊を祝す(山本達雄) 8. 2  
全日本私設社会事業連盟機関紙ノ発刊ヲ祝ス(小山松吉) 8. 2  
私設社会事業の創刊を祝す(清浦奎吾) 8. 2  
私設社会事業月報の創刊を祝して(守屋栄夫) 8. 2  
私設社会事業の創刊を祝す(社会事業新聞社) 8. 2  
私設社会事業創刊の祝辞(前田利定) 8. 2

##### 総持寺

総持寺の記念事業 15. 2

##### 総持寺母子寮

総持寺(曹洞宗大本山)で母子寮 16. 11

##### 曹洞宗

曹洞宗社会課で紙芝居作製 14. 9

##### 曹洞宗社会事業大会

曹洞宗社会事業大会開かる 12. 4

#### <た>

##### 代議員

第十四回代議員会 新代議員名簿(二二八名) 17. 6

##### 代議制度

代議制度の反省(今中次磨) 12. 12

##### 待遇改善問題

年金組合加入六百人 待遇改善問題を示唆 16. 3

##### 大正大学社会事業研究室

大正大学社会事業研究室編『東北社会事業と石川翁』 17. 1

##### 大東亜戦争

大東亜戦争と社会事業徒の覚悟(華城) 16. 12

##### 大日本社会事業報国会

全日本私設社会事業連盟を大日本社会事業報国会と改称 規約改正 17. 8

社会事業戦時体制確立協力会議設置案成る 大日本社会事業

報国会の新しい方途を闡明！ 17.12

**大日本青少年団**  
青少年救護運動の展開 大日本青少年団起つ 17.1

**大日本仏教青年会連盟**  
大日本仏教青年会連盟大会開催 16.11

**退任の挨拶**  
退任の御挨拶（丸山鶴吉） 13.4

**体力法**  
体力法の改正に伴ふ乳幼児体力検査に関する解説 17.5

**高崎樹徳学校**  
高崎樹徳学校の新規事業 日の丸保育園開く 16.10

**高田慈光院**  
高田慈光院（三重県）創立二十周年式 16.4  
高田慈光院（三重）院長事務取扱に青山新七郎氏就任 18.1

**高山秀雄**  
訃報・高山秀雄氏 18.9

**託児所**  
託児所の文化的使命と従事者への希望（横田忠郎） 11.12  
全国託児所・幼稚園児童創作品（童画と手芸品）展覧会 主催横須賀乳幼児保護会 13.1  
天理教の社会事業 一挙百ヶ所の託児所を増設 14.4

**託児所保姆講習会**  
託児所保姆講習会開催・茨城県私設社会事業連盟 10.6

**竹内愛二**  
『ケース・ワークの理論と実際』竹内愛二氏の近著を読む（谷川貞夫） 13.9

**武田塾**  
財団法人武田塾の発展 8.9

**武田慎治郎**  
武田君の死を悼む（松岡良友） 15.4  
故武田慎治郎翁を偲ぶ（大谷繁次郎） 15.4  
武田翁の遺事 15.6  
『武田慎治郎記念誌』 17.3

**多子家庭**  
岡田寒泉の人口政策 百五十年前の多子家庭奨励（（華城）三輪政一） 16.4

**田中泰輔**  
京都私設社会事業の先覚者 田中泰輔翁逝く 9.4

**田辺熊蔵**  
帰郷だより 書簡一束（群馬：田辺熊蔵） 18.6

〈ち〉

**小子部栖軽**  
雄略天皇の御慈愛心 小子部栖軽の孤児院（三輪政一） 14.12

**父を語る**  
父を語る（北村孝義） 8.12、9.1

**千葉県私設社会事業連盟**  
千葉県私設社会事業連盟第二回総会 8.6  
千葉県連盟便り 9.10  
千葉県私設社会事業連盟陣容革新 9.11  
千葉県私連第二回総会 13.10  
千葉県私設連盟臨時総会 14.4  
千葉県私設社会事業連盟総会 15.2

**千葉県仏教社会事業協会**  
千葉県便り・千葉県仏教社会事業協会発会式 9.12

**地方長官会議**  
地方長官会議と罹救法地方助成 8.4

**中央改組問題**  
中央改組問題と全連の態度 安藤理事長と広瀬厚相と懇談の

結果 欣然一体化 14.3

**中央公論社出版広告**  
中央公論社出版広告に対する村松梢風氏の推賞文を遡りて（X・Y・Z） 11.12

**中央社会事業委員会**  
中央社会事業委員会四十五委員決定 会長は木戸厚相 13.7  
中央社会事業委員会委員の命を拝したる余の『三空感』（武田慎治郎） 13.9  
中央社会事業委員会 第一回会合開催 15.7

**中央社会事業委員会官制**  
中央社会事業委員会官制（勅令第四百四十七号） 13.6b

**中央社会事業協会**  
中央社会事業協会考案 全国社会事業大会常設委員会に絶対反対す（牧賢一） 11.3

**中央保健婦練成所**  
中央保健婦練成所発会式 16.3

**中央盲人福祉協会**  
第三回鍼灸講習会開く 中央盲人福祉協会主催 17.6

**中央優生審査会**  
中央優生審査会第一回総会 16.11

**中央融和事業協会**  
中央融和事業協会地区中堅青年大会三月初旬に 12.2

**中華社会事業**  
中華社会事業の進展と吾等の責務 16.5

**中華社会事業協会**  
中華社会事業協会設立さる 16.4

**中堅幹部練成会**  
私設事業中堅幹部練成会 菊薫の九月下旬東都に開催 15.7  
中堅幹部練成会 15.8  
中堅幹部練成会 盛会裡に終了、同窓四十二名 15.11

**中部日本社会事業連盟**  
中部日本私設懇談会 14.11  
中部日本社会事業連盟協議会 岐阜市で開催 16.4

**重源**  
風呂屋の元祖重源 司法保護の大先覚（（華城）三輪政一） 16.10

**調査機関**  
調査機関の拡充と活用（磯村英一） 10.7

**朝鮮私設社会事業連盟**  
朝鮮私設連盟欄 11.6  
朝鮮私設社会事業連盟趣意書 11.7  
朝鮮私設社会事業連盟加盟団体一覧表 11.7  
朝鮮私設社会事業連盟総会並結成式 11.9  
朝鮮私設社会事業連盟代議員七名を決定 12.3  
朝鮮私連第二回総会を開く 13.7  
朝鮮私設連盟の事業 15.6  
朝鮮私設社会事業連盟 時局大会開催さる 16.10

**朝鮮社会事業大会**  
教化連合会発会と朝鮮社会事業大会・三日勤政殿に行はる 10.10

**朝鮮社会事業報国会**  
朝鮮社会事業報国会 18.2

〈つ〉

**築地本願寺社会部**  
築地本願寺社会部 14.9  
築地本願寺社会部創立二十周年記念式挙行 17.12

**津田亀治郎**  
津田亀治郎氏を悼む 12.7

角井義雄 \*「か」の欄を見よ  
鶴見欣次郎  
鶴見欣次郎氏の就任 8.9  
本連盟皇軍慰問使鶴見欣次郎氏よりの便り 12.11  
鶴見欣次郎氏帰朝 13.12

<て>

鉄眼禪師  
鉄眼禪師を偲ぶ 罹災救助飢民救済に血の資金を投じて惜ま  
ず(三輪政一) 14.7

天刑病  
真宗の信仰に燃え天刑病の看護に 松島嬢が愛生園へ 14.12

転失業者  
転失業者と社会事業(津戸徳治) 16.5

天台宗  
社会事業指導員 天台宗が各教区に 14.4

天台宗社会事業連盟  
天台宗社会事業連盟理事会 14.5

天長節  
天長節の意義及由来(本多辰次郎) 14.4

電灯料軽減問題  
電灯料軽減問題に就き市当局に折衝 大阪社会事業協会  
8.12

天理教  
天理教の社会事業 一挙百ヶ所の託児所を増設 14.4

<と>

東京育成園  
東京育成園主催白衣勇士招待会 17.3

東京救療事業連絡会  
東京救療事業連絡会生る 9.11

東京市会  
東京市会に於ける社会事業に関する質問(中西雄洞) 9.5

東京市政の革新  
東京市政の革新と社会事業(磯村英一) 11.5

東京私設社会事業連盟  
東京私設連盟主催『社会事業デー』迫る 8.2  
東京私設連盟の活躍 目撃に迫る社会事業デー 8.3  
東京私設連盟の総会終る 8.5  
東京私設連盟第一回理事会 8.6  
東京私設社会事業連盟の新案名簿 8.12  
東京連盟忘年会大会提出議案決定 9.1  
東京私設社会事業連盟主催 敬老会盛大に終る 9.5  
東京連盟定例理事会 12.10  
東連加盟団体の銃後奉仕への進出状況 12.10  
東京私設社会事業連盟 13.10  
東京私設社会事業連盟総会 14.4  
東京私設社会事業連盟 15.2  
東京私設社会事業連盟活動 15.4  
東京私設社事連盟 15.12  
東京私設連盟主催医療保護事業有志懇談会 医療保護法の徹  
底普及を意図し 16.9  
東京私設社会事業連盟提出緊急動議 17.6

東京児童愛護連盟  
東京児童愛護連盟の発展 8.11

東京児童指導者会  
東京児童指導者会 子供大会 9.6  
東京児童指導者会国領転住所の実況 11.9

東京児童指導者会国領転住所概況 12.8  
『キャンプ』るぼるたーじゅ(藤井円雄) 13.9

東京市方面制度  
東京市方面制度座談会 於 鶴水閣(中西雄洞/庄野数彦/  
務台教真/三輪政一/大塚弘/磯村英一/福田秀雄/長谷  
川良信/谷川昇/笠原謙三/河村舜応/三谷此治) 11.1

東京社会事業報国会  
東京社会事業報国会の活動 18.2

東京府社会事業協会  
東京府社会事業協会創立二十五周年記念会 17.6

東京府社会事業大会  
東京府社会事業大会(七月十日に開催) 15.6  
東京府社会事業大会 有意義且つ盛大に 15.7  
紀元二千六百年記念東京府社会事業大会に於ける祝辞(安藤  
正純) 15.7

同志社大学厚生館  
同志社大学厚生館開館式 16.11

同情園  
同情園火災に就いて 12.7  
同情園災厄追記 12.8  
同情園罹災者救援善後委員会の決定 12.10

道府県社会課長打合会  
道府県社会課長打合会報告 8.10

『東北社会事業と石川翁』  
大正大学社会事業研究室編『東北社会事業と石川翁』 17.1

東北六県社会事業講習会  
東北六県社会事業講習会 11.9

戸上訓礼  
訃報・戸上訓礼氏 18.2

徳島県私設事業家  
新私設連盟甦生? 徳島県私設事業家集まる 8.6

徳島県私設社会事業連盟  
徳島県私設連盟 15.12

徳永恕子  
徳永恕子女史へ浄財一万円贈呈 17.12

栃木県私設社会事業連盟  
栃木県私設社会事業連盟 14.9

栃木四恩会  
栃木四恩会黒田徹宗氏の努力 8.8

鳥取育児院  
鳥取育児院を慰問 復興に角井義雄氏活躍 18.9

鳥取大震災  
鳥取の大震災 18.8

隣組  
三浦梅園の隣人愛 学ぶべき隣組精神(三輪政一) 16.1

富田愛次郎  
富田愛次郎著『日本社会事業の発達』を讀みて(古坂明詮)  
18.2

留岡幸助  
留岡・有馬両先生逝く 9.3

富山県私設社会事業連盟  
福井県・石川県・富山県私設社会事業連盟 8.7

トリウベル治療教育院  
独逸に於ける精神薄弱児童養護施設 トリウベル治療教育院  
に就て(林蘇東) 16.4

鳥越共働組合  
山形県『鳥越共働組合』を見る 農村社会事業の組的經營  
の一例として(林新助) 13.7

〈な〉

内鮮融和

内鮮融和へ 茨城県協和会誕生 15.6

中川幽芳

中川幽芳氏応召せらる 12.10

長崎県私設社会事業連盟

丸山理事長を長崎に迎へて 長崎県私設社会事業連盟 9.11

長崎県社会事業座談会

長崎県社会事業座談会 8.9

長島愛生園

救癩“一万床”達成 前途遼遠の観・長島愛生園長は語る 15.2

中田駿郎

慶福会功労者選奨 本会関係は中田理事長外五名 18.1

七窪思恩園

日本育児院分院の独立＝山形の七窪思恩園 8.8

生江孝之

生江孝之氏古稀記念出版並ニ社会事業文献賞大綱 12.5

奈良県私設社会事業

奈良県私設社会事業財務協議会 14.9

南洋委任統治領

南洋委任統治領に出現する社会施設！ 8.6

〈に〉

新潟県

新潟県私設役員懇談会 14.11

新潟県私設社会事業連盟

新潟県私設連盟生る 9.5

新潟県私設社会事業連盟発会式挙行 9.6

新潟県私設社会事業連盟 14.12

西日本私設社会事業連盟

西日本連盟の沿革と全日本連盟の起原 8.3

社会事業の刷新改廃 産声は西日本連盟より実行は大阪府よりか？ 8.3

西日本私設社会事業連盟総会並に理事会、代議員会の召集 9.5

西日本私設社会事業連盟総会 九州山口の関係者約百名参集 9.11

西日本私設社会事業団体

西日本私設社会事業団体殊に育児事業団体を見学視察しての感想（田中泰輔） 9.1

西本願寺

西本願寺社会事業の根本方針 8.6

西協政一

岐阜自助会館長西協政一氏岐阜市教育会ヨリ表彰サル 10.6

日満社会事業

第三回日満社会事業大会愈迫る 11.8

日満社会事業大会開催さる 11.9

第三回日満社会事業大会詳報 11.10

日満社会事業大会出席者懇談会 11.11

日満社会事業家懇談会

日満社会事業家懇談会 10.11

日満社会事業連盟

日満社会事業連盟本結成ニ関スル経過報告（全私社連盟） 13.1

附・日満社会事業連盟規約案 13.1

日満支連盟

日満支連盟結成の件 15.8

日満不可分

社会事業を通じ日満不可分関係の強調（冠頭言） 11.10

日満不可分精神の具現と農業移民（高木武三郎） 11.10

日満連盟

日満連盟強化に付ての懇談 17.7

日蓮宗慈濟会

日蓮宗慈濟会（東京）落成 15.6

日華社会事業連盟

日華社会事業連盟結成に関する経過概要（三輪政一） 17.8

日本育児院

日本育児院の創立四十五周年記念式典 14.5

日本育児院 樺太支部設立計画 16.2

建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 日本育児院（岐阜県） 17.3

日本育児院分院

日本育児院分院の独立＝山形の七窪思恩園 8.8

日本医療団

日本医療団首脳決定 17.6

『日本社会事業の発達』

富田愛次郎著『日本社会事業の発達』を読み（古坂明詮） 18.2

日本少国民文化協会

建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 日本少国民文化協会発会式 17.3

日本少年指導会

日本少年指導会 12.10

日本少年指導会会長大森亮順氏に 15.6

老将軍の気焰 日本少年指導会の父 16.1

日本生活科学会

生活へ学界の援軍 日本生活科学会近く誕生す 16.11

日本精神薄弱児愛護協会

日本精神薄弱児愛護協会第二回定時総会 10.11

乳児院

平安徳義会の乳児院竣工 8.9

乳幼児愛護週間

乳幼児愛護週間 8.4

乳幼児審査会

秋季乳幼児審査会開かる 16.9

乳幼児体力検査

体力法の改正に伴ふ乳幼児体力検査に関する解説 17.5

乳幼児保育事業

乳幼児保育事業調査 8.6

乳幼児保護運動

乳幼児保護運動の動向（朝原梅一） 9.12

妊娠届出制度

妊娠届出制度の提唱 16.2

妊娠の摂生

人的資源と妊娠の摂生（細野尚是） 16.3

〈ね〉

年金組合

年金組合に就て 特に既往勤続年数加算方法 15.6

年金組合加入六百人 待遇改善問題を示唆 16.3

〈の〉

農山漁村救済更生

農山漁村救済更生問題と私設社会事業（谷川貞夫） 11.5

## 農村更生

農村更生を目指す社会事業の新方面の開拓（吉田源治郎）  
12.11

農村更生問題（土屋大助） 12.12

## 農村社会事業

農村社会事業に就て（笠森伝繁） 11.1

農村社会事業と農村教育（天谷虎之助） 11.3

農村社会事業に就て（浜田光雄） 11.3

農村社会事業と経済問題（笠森伝繁） 11.6

農村社会事業の新興を控へて（冠頭言） 11.8

農村社会事業の根本問題（笠森伝繁） 12.12

山形県『鳥越共働組合』を見る 農村社会事業の組的経営  
の一例として（林新助） 13.7

農村社会事業の方途 その在り方の一側面について（谷川貞  
夫） 18.8

## 農村隣保事業

農村隣保事業の将来（姫井芳堂） 11.5

農村隣保事業に対する私見（杉山元治郎） 11.8

## 農村隣保施設

農村隣保施設の拡充 厚生省各府県へ補助金 16.12

## <は>

### 白十字会村山療養園

建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 白十字会村山療  
養園（東京府） 17.3

### 函館私設団体

惨禍の街 修羅の街 函館私設団体を救へ！ 9.4

### 函館罹災

函館罹災私設社会事業団体従業員家族救済寄付金報告 9.5

全連の函館罹災私設団体慰問 9.6

函館罹災私設社会事業団体従業員家族救済寄付金報告 9.6・7

### 橋本勝太郎

橋本勝太郎將軍著『少年の性格と環境』（今井新太郎） 18.3

### 長谷川良信

常務理事長長谷川良信君よりの便り 16.7

南京より長谷川良信氏の便り 16.8

### 発刊の辞

発刊の辞（冠頭言）（丸山鶴吉） 8.2

### 服部報公会

服部報公会補助金十四年度受領団体 14.12

### 花嫁

拓け・満洲！ 送れ・花嫁（編集部） 13.9

### 原田二郎

原田二郎翁の人格 積善会は如何にして出来たか（（華城）三  
輪政一） 15.8

### 原田積善会

感謝録（原田積善会から補助金受領） 16.3

## <ひ>

### 東日本私設社会事業連盟

東日本私設社会事業連盟役員懇談会 8.3

東日本連盟定期総会迫る 8.6

東日本私設社会事業連盟第二回定期総会 8.7

### 非常時局

非常時局に直面して建国の大精神を憶ふ（丸山鶴吉） 9.2

非常時局下の戊寅年頭感（冠頭言）（丸山鶴吉） 13.1

### 非常時社会事業

非常時社会事業界の問題を拾って（牧賢一） 11.7

## 日の丸保育園

高崎樹徳学校の新規事業 日の丸保育園開く 16.10

## 白衣勇士

東京育成園主催白衣勇士招待会 17.3

## 兵庫県私設社会事業連盟

兵庫県私設社会事業連盟総会 8.7、9.4

神戸便り 兵庫県私設社会事業連盟 9.11

## 兵庫県連合保護会

兵庫県連合保護会第二回事務講習会開催セラル 10.11

## 平井学院

若葉学院新発足（旧平井学院） 17.12

## 広島育児院

広島育児院 8.8

## 広島県私設社会事業連盟

広島便り 第五回広島県私設社会事業連盟総会 10.2

第七回広島県私設社会事業連盟総会開催 13.6a

広島県私設社会事業連盟 14.10

## 広島県立少年教護院

少年教護院落成式 広島県立 14.5

## 広島修道院

北村翁逝去（広島修道院長） 8.9

広島修道院の近況 目下拡張改築中 11.6

広島修道院出身者達が北村前院長の胸像を建つ 12.2

## 貧困虚弱児

保育の実際に見たる貧困虚弱児（学生研究発表）（辰巳善雄）  
12.12

## 貧民調査

北京市天橋を中心とする貧民調査（上）（下）（華北社会事業  
協議会） 17.4・5

## <ふ>

### フォード少年共和国

少年自治訓練所としての米国フォード共和国（一）（二）  
10.7・8

フォード少年共和国の構成 10.9・10

### 福井県私設社会事業連盟

福井県・石川県・富山県私設社会事業連盟 8.7

福井県私連主催第一回社会問題社会事業の講演会並講習会  
13.6a

### 福井県社会事業報国会

福井県社会事業報国会 18.2

### 福岡県私設社会事業連盟

福岡県私設社会事業連盟 14.10

福岡私設社会事業連盟例会 15.2

福岡私設連盟 東京女高師の及川女史を迎へて手技講習会の  
開催 15.10

### 福岡市私設社会事業連盟

福岡市私設社会事業連盟の組織成る 8.3

### 福岡少年院

福岡少年院落成 16.11

### 福島県私設社会事業連盟

福島県私設社会事業連盟結成此処数月に迫る 9.8

福島県私設社会事業連盟 9.10

福島県私設連盟の本結成 10.1

福島県私設社会事業連盟結成式 10.2

福島県私設社会事業連盟総会 10.9

### 福田会

福田会（東京）創立六十五年 15.6

## 府県連盟単位制

府県連盟単位制に就いて 9.6

## 藤野恵

藤野恵・持永義夫著『社会行政』 12.11・12

## 婦人セツルメント

厚生道場開設 婦人セツルメント 17.8

## 婦人の更生

薄倅なる婦人の更生（神戸婦人同情会事業調査） 14.4

## 二葉学院

訃報・二葉学院長（東京金町）二葉嘉太郎氏死去 16.4

## 二葉嘉太郎

訃報・二葉学院長（東京金町）二葉嘉太郎氏死去 16.4

## 仏眼協会

仏眼協会の内容整備 浅草本願寺の新計画 17.8

## 不良少年の激増

事変下に於ける不良少年の激増はどうすれば良いか（橋本勝太郎） 16.7

## 浮浪者

浮浪者の生活実相（草間八十雄） 13.11・12

## <へ>

### 平安徳義会

故松尾喜七氏（平安徳義会）より本会へ寄附金 17.11

平安徳義会の乳児院竣工 8.9

### 平安養育院

平安養育院（京都市）全焼 16.4

平安養育院（京都市）移転 17.4

### 米国の共同募金

米国の共同募金の実況（上）（下）（小林政助） 8.8・9

米国の共同募金の最近の情勢（福田愛蔵） 9.9

### 米国の私設社会事業

米国の私設社会事業（上）（下）（宮古二郎） 12.3・4

### 米国の貧民窟

米国の貧民窟行脚（不老隣司） 8.7・11・12

### 北京市天橋

北京市天橋を中心とする貧民調査（上）（下）（華北社会事業協議会） 17.4・5

### 別府養老院

別府養老院十週年記念式 10.10

## <ほ>

### 保育

保育の実際に見たる貧困虚弱児（学生研究発表）（辰巳善雄） 12.12

### 法均尼

法均尼の生涯 千二百年前の育児事業を偲ぶ（三輪政一） 14.5

### 房総有隣園

房総有隣園座談会 12.2

### 方面委員

方面委員と社会事業の関係（冠頭言） 8.3

方面委員と選挙粛正（冠頭言） 10.9

### 方面委員制度

方面委員制度革新の好機 選挙粛正の叫びと委員の改選期を前にして（平野政夫） 10.9

### 方面委員制度の法制

方面委員制度の法制化 方面委員令愈々明春より施行 11.12

## 方面委員全国大会

方面委員全国大会 山口県宇部市 16.5

## 方面委員全国代表会議

方面委員全国代表会議 17.3

## 方面委員令

方面委員制度の法制化 方面委員令愈々明春より施行 11.12

## 方面救済週間

第五回方面救済週間 12.11

## 方面制度

東京市方面制度座談会 於 鶴水閣（中西雄洞／庄野数彦／務台教真／三輪政一／大塚弘／磯村英一／福田秀雄／長谷川良信／谷川昇／笠原謙三／河村舜応／三谷此治） 11.1

## 保健社会省

保健社会省の設置を顧る（山影陰士） 12.8

保健社会省に望む（松田竹千代） 12.10

保健社会省の設置について 各国の現状（永井亨） 12.10

保健社会省開設の延期 12.10

## 保健社会省官制

保健社会省官制決定 年内に開設準備完了 12.12

## 保健政策

保健政策への希望（山川菊栄） 12.10

## 保健婦大会

第二回保健婦大会 16.2

## 保護少年

曾ての『保護』少年中に八十一機撃墜の猛者あり 13.10

## 母子の家

信愛保育園（京都）母子の家 16.3

## 母子扶助

母子扶助の指針『母子保護法解説』 12.7

## 母子扶助法

母子扶助法要綱（本連盟立案） 10.3

## 母子扶助法案

母子扶助法案要綱成る 来議会に提出の筈 11.12

## 母子保護施設

法の期待する母子保護施設と其の現況（船本数江） 12.9

## 母子保護法

母子保護法について（金子しげり） 10.10

母子保護法施行に対する方針 12.4

母子扶助の指針『母子保護法解説』 12.7

母子保護法の実施に際して（武田真量） 12.10

母子保護法一周年記念会 14.3

## 母子保護法案

母子保護法案と議会 12.3

## 母子保護法施行令

母子保護法施行令 12.12

## 母子寮

総持寺（曹洞宗大本山）で母子寮 16.11

## 補習教育

補習教育と社会事業に於けるその地位（谷山恵林） 11.9

## 母性

細民社会の児童と醜業婦よりも悲惨な母性（落合芳子） 10.8

## 母性保護運動

母性保護運動（小栗将江） 10.3

## 母性保護会

母性保護会の妊産婦診療 16.11

『母性保護会』設立さる 人的資源確保のため全国婦人科医の臨戦体制 16.12

## 母性保護法

母性保護法制定への要求（牧賢一） 9.9

## 北海道社会事業団体

- 北海道社会事業団体新たに加盟 8.10
- 北海道社会事業団体活動 15.2

## 北海道社会事業団体連合会

- 北海道社会事業連合会秋季総会開催 8.9
- 北海道社会事業連合会秋期総会 来会者百名の盛会 8.10
- 北海道社会事業連合会取扱義捐名簿 9.6
- 北海道社会事業団体連合会総会 9.9
- 北海道社会事業連合会総会 10.3
- 第十一回連合会総会状況 北海道社会事業団体連合会 12.1
- 北海道社会事業団体連合会総会開催 13.10
- 北海道連合会 14.4
- 北海道社会事業団体連合会 14.10
- 北海道社会事業連合会の府県視察 16.5
- 北海道社会事業団体連合会総会並職員大会 16.7

## 北海道授産場

- 北海道授産場創立二十五年祝賀記念式 9.9

## 保姆養成機関

- 東京府で保姆養成機関を開設 16.11

## <ま>

### 前橋積善会

- 前橋積善会 14.9

### 牧村出産相扶組合

- 吾が事業を語る 牧村出産相扶組合の現況に就て・新潟県東頸城郡牧村 11.9

### 松江保護会

- 松江保護会 14.7

### 松尾喜七

- 故松尾喜七氏（平安義徳会）より本会へ寄附金 17.11

### 松島正儀

- 松島正儀君の『私設社会事業家気魄の吟味』を読む（河東田教美） 12.5

### 松田甚次郎

- 訃報・松田甚次郎氏 18.6

### 松戸保育園

- 静岡大火へ慰問品・松戸保育園長の義挙 15.2

### 麻薬中毒

- 社会防衛より見たる麻薬中毒（鄭寅学） 11.3

### 丸山鶴吉

- 丸山理事長の地方講演 8.5
- 丸山理事長代議員招待会 8.7
- 陣容新たに第四回理事会丸山理事長再任に決定 8.9
- 丸山理事長 愛媛県下の巡回 8.12
- 丸山理事長地方講演 9.4
- 丸山理事長下阪せらる 9.11
- 丸山理事長を長崎に迎へて 長崎県私設社会事業連盟 9.11
- 丸山先生の寧日なき活躍 選挙肅正に東奔西走 10.7
- 丸山理事長を迎へて社会事業座談会・北海道 11.2
- 丸山理事長を囲んで社会事業座談会 11.10
- 本連盟理事長更迭 丸山前理事長を顧問に戴き安藤先生を新理事長に迎ふ 13.6a
- 丸山前理事長帰朝 13.9
- 丸山前理事長を囲む会 13.10
- 丸山前理事長謝恩会 全国より集る者二百名盛會を極む 13.12

### 満洲

- 拓け・満洲！ 送れ・花嫁（編集部） 13.9

## 満洲大日向村

- 満洲大日向村を観る（平野義一） 17.9

## 満洲開拓

- 満洲開拓便り 12.12

## 満洲国

- 二十万円御寄贈 満洲国皇帝陛下 15.7

## 満洲国社会事業

- 満洲国社会事業視察（正田淑子） 9.7

## 満洲国社会事業協会

- 創立五周年を迎ふる満洲国社会事業協会 11.3

## 満洲国社会事業研究生

- 第一回満洲国社会事業研究生帰国ノ途ニ就ク 11.2
- 満洲国社会事業研究生来朝 13.10
- 満洲留学生諸君の動静 14.5
- 社会事業精神（上）（下）六月十四日満洲国留学生の為に（安藤正純） 14.6・7
- 第五回満洲国社会事業研究生来る 16.6
- 第五回満洲国社会事業研究生帰途につく 16.8
- 満洲留学生無事帰還 16.9

## 満洲国社会事業講習生

- 満洲国社会事業講習生来朝 11.10

## 満洲社会事業協会

- 満洲社会事業協会が会名変更 関東洲社会事業協会に 16.4

## 満洲遊記

- 満洲遊記（津田正夫） 11.7

## 満鮮の旅

- 満鮮の旅（丸山鶴吉） 11.11

## 満鮮の旅路

- 満鮮の旅路から（一）～（十）（不老隣生（不老隣司生）） 11.10～12、12.1～3・5・7～9

## <み>

### 三浦梅園

- 三浦梅園の隣人愛 学ぶべき隣組精神（三輪政一） 16.1

### 三重県私設社会事業連盟

- 三重県便り 9.6
- 三重県私設連盟臨時総会 9.9
- 三重便り 三重県私設社会事業連盟通信 10.2
- 三重県私設社会事業連盟会報抜萃 10.6

### 三重済美学院

- 三重済美学院長能真海氏 16.2

### 三重保育園

- 三重県便り・（財）三重保育園創立二十週年記念式 9.12

### 三田学園

- 三田学園々長名義変更 16.12
- 三田学園（東京芝区）類焼 18.2

### 三井報恩会

- 我国救癩史の決定線、三井報恩会の癩撲滅献金に就いて（中川幽芳） 12.1

### 峰田一步

- 逝ける峰田一步翁（鶴見欣次郎） 10.11

### 身延深敬院

- 身延深敬病院 身延深敬院と改称 18.1

### 身延深敬病院

- 身延深敬病院 身延深敬院と改称 18.1

### 身延保育園

- 身延保育園（山梨）新設 16.3

### 民間社会事業

- 民間社会事業と社会連帯責任に就て（前田利定） 8.6

時局と民間社会事業の重要責務（長谷川良信） 14.9

〈む〉

無医村

速かに無医村なからしめよ 15.10

無産運動

無産運動の目的と社会事業の関係（杉山元治郎） 12.7

村松梢風

中央公論社出版広告に対する村松梢風氏の推賞文を遡りて（X・Y・Z） 11.12

ディッケンス物語り広告に関する声明書 中央公論社並びに村松梢風氏の出版広告文の認識不足を駁す（東京三火会／大阪二五会） 12.2

〈め〉

明治節奉祝実施要綱

明治節奉祝実施要綱（昭和一三・九・三十 内閣情報部国民精神総動員部会決定） 13.10

明照社会館

明照社会館（東京深川）焼失 15.6

眼の記念日

第三回「眼の記念日」九月十八日実施 16.9

免税運動

社会事業団体保護のため 社会事業臨時連合会を組織し免税運動に乗出す 12.1

〈も〉

蒙古留学生

蒙古留学生成績良好 14.5

盲人保護

盲人保護の将来と社会事業への期待（岩橋武夫） 11.7

持永義夫

藤野恵・持永義夫著『社会行政』 12.11・12

守屋栄夫代議士質問

今期議会予算委員会記録抜萃 守屋栄夫代議士質問事項 8.3

第六四回帝国議会衆議院予算委員会速記抜萃（前承） 守屋栄夫代議士質問事項 8.4

〈や〉

山形県私設社会事業連盟

山形県下 私設社会事業連盟の産声 9.3

山県つる

山県つる女史（聖ヒルダ養老院）の美挙 17.4

山口育児院

山口育児院三十周年記念式 8.8

山口県私設社会事業連盟

続々結成さる各県連盟 山口県私設連盟の結成 10.3

山口県私設社会事業連盟開会式挙行サル 10.10

山口県社会事業大会

九州、沖縄、山口各県社会事業大会 11.9

山口県方面委員連盟

山口県方面委員連盟結成式 13.10

山口正

日本社会事業の現代的発展！（山口正著『日本社会事業の発展』の一節）（冠頭言） 13.11

山中兼太郎

渡辺たま氏及山中兼太郎氏の横浜孤児院退職 12.6

山中兼太郎氏の逝去を悼む 13.1

山梨県私設社会事業連盟

山梨県私設社会事業連盟生る 8.11

山内猪右衛門

山内猪右衛門の妻（鶴見欣次郎） 10.1

山室軍平

山室軍平氏救世軍葬 15.4

山室軍平氏一周年会 16.3

山室全集

山室全集編纂委員会成立 17.6

八幡学園

八幡学園（千葉県）移転 16.3

八幡学園（千葉）新園長久保寺光久氏就任 18.1

〈ゆ〉

結城財政

国民生活安定と結城財政（藤田進一郎） 12.3

優生運動

優生運動に就て（吉水松巖） 8.3・4

優生結婚法

「優生結婚法」制定準備 16.6

雄略天皇

雄略天皇の御慈愛心 小子部栖軽の孤児院（三輪政一） 14.12

融和事業

融和事業の趨勢（山本正男） 11.1

〈よ〉

要救護母子調査

市社会局の要救護母子調査 12.2

幼稚園

全国託児所・幼稚園児童創作品（童画と手芸品）展覧会 主催横須賀乳幼児保護会 13.1

養老院収容者

養老院収容者に対し衣料切符の交付を望む（宇野津外雄） 17.6

養老事業

養老事業実務者の態度（西脇芳郎） 14.12

養老事業研究会

養老事業研究会 14.5

養老思想

文献より見た我国の養老思想（岩田民次郎） 11.12

横須賀乳幼児保護会

全国託児所・幼稚園児童創作品（童画と手芸品）展覧会 主催横須賀乳幼児保護会 13.1

横浜家庭学園

横浜家庭学園を見る（三輪華城） 8.9

横浜孤児院

渡辺たま氏及山中兼太郎氏の横浜孤児院退職 12.6

横浜新興倶楽部

横浜新興倶楽部愈竣工 8.7

横浜同人倶楽部

横浜同人倶楽部消息 8.6

横浜中村愛児園

横浜中村愛児園 母子寮を新設 10.8

吉田悦蔵

訃報・吉田悦蔵氏（近江兄弟社理事長） 17.12

## 予防局長

厚生省生活局長、予防局長更迭 17.6

## 〈ら〉

### ライト女史

全財産を寄付 ライト女史の美挙 16.2

## 〈り〉

### 罹災救助

鉄眼禪師を偲ぶ 罹災救助飢民救済に血の資金を投じて惜ま  
ず(三輪政一) 14.7

### 罹災救助基金

貴族院予算委員会に於ける罹災救助基金運用に関する質問・  
大森議員 9.3

罹災救助基金助成継続運動 9.12

罹災救助基金助成に付ての請願出づ 10.2

### 罹災救助基金地方助成

都鄙社会事業輿論の重大性 私設団体経済甦生の仰望・罹災  
救助基金地方助成の徹底的要望(冠頭言) 9.8

罹災救助基金地方助成最近の動向 9.8

罹災救助基金地方助成ニ関スル陳情 9.8

### 罹災救助基金法

改正罹災救助基金法と地方私設の助成 8.2

地方長官会議と罹災法地方助成 8.4

罹災法請願貴族院に採択せらる 9.12

罹災救助基金法再度の請願 貴衆両院に採択せらる 10.3

### 理事長更迭

本連盟理事長更迭 丸山前理事長を顧問に戴き安藤先生を新  
理事長に迎ふ 13.6a

### 了翁禪師

了翁禪師の聖業 幼時の悲惨さを忘れなかった高德(三輪政  
一) 15.4

### 隣邦孤児愛護会

聖恩優渥・畏し両陛下から下賜金の光栄 隣邦孤児愛護会の  
感激 14.11

## 隣保協同体

隣保協同体と社会事業(上)(下)(福岡文芳) 14.11・12

## 隣保事業

隣保事業管見(谷川貞夫) 11.2

隣保事業の動向と其使命の検討(吉田源治郎) 11.2

農村指導機関としての隣保事業(生江孝之) 11.3

農村指導機関としての隣保事業(古坂明詮) 11.3

隣保事業は果して行詰れるや(姫井芳堂) 11.12

隣保事業の再検討(志賀志那人) 12.4

## 〈ろ〉

### 労働児童

労働児童の就学問題(遊佐敏彦) 11.3

### 労働婦人問題

労働婦人問題に関する二三の所見に就て(ウインフレッド・  
カリス) 11.8

## 〈わ〉

### 若葉学院

若葉学院新発足(旧平井学院) 17.12

### 脇田良吉

著書紹介 脇田良吉著『異常児教育三十年』 8.8

### 和光託児園

和光託児園→赤崎隣保館(鳥取県) 16.8

### 渡辺海旭

渡辺海旭師の逝去 8.3

渡辺海旭師を偲ぶ会 14.1

傑僧渡辺海旭先生を追慕す 社会事業界の画期的指導者(三  
輪政一) 15.1

### 渡辺たま

渡辺たま氏及山中兼太郎氏の横浜孤児院退職 12.6

### 和楽託児所

和楽託児所→和楽保育園(新潟県) 16.8

### 和楽保育園

和楽託児所→和楽保育園(新潟県) 16.8

## 『私設社会事業』執筆者索引

### 凡例

1. 本執筆者索引は、『私設社会事業』誌に執筆した著者名を五十音順に配列した。
2. 表記の順序は執筆者名、タイトル、発行年（昭和）、月とした。なお、昭和13年6月のみは、15日発行の通常号のほか、臨時号が30日に発行されているので前者は13.6a、後者は13.6bとした。
3. 執筆者氏名などの漢字の読み方については、一般的な読み方をしている。
4. ペンネームについては、本名が明らかな場合には該当箇所での旨示してある。
5. 旧漢字は新漢字に改めた。ただし次の文字は、以下のような文字に改めた。  
聯→連 廿→二十 卅→三十
6. 仮名遣い・送り仮名は、原文通りとした。
7. 外来語については、基本的に原文通りとした。
8. 明らかな誤記・誤植については訂正した。

作成 寺脇 隆夫

〈あ〉

相田 良雄

第八回社会事業大会の開催に際し私設社会事業の過去を偲ぶ  
10.10

老の問題に就て 18.3

赤神 良譲

軍事扶助の社会的性格 12.12

赤城浅太郎

私設連盟視野の展望 10.1

朝原 梅一

乳幼児保護運動の動向 9.12

蘆沢 威夫

救護技術（院内外）に関する私見 11.7

安部 磯雄

社会事業本質論 11.7

天谷虎之助

農村社会事業と農村教育 11.3

安藤 正純（代議士 理事長）

私設社会事業 8.2

救貧より防貧へ／社会事業と政治 8.6

現下の社会不安を如何にするか（衆議院緊急質問要旨） 10.5

冠頭言・私設社会事業の行く道／社会事業法制定の意義と私  
設社会事業家の態度 13.6a

冠頭言・急告！社会事業法発布 記念地方別講習会開催方通  
牒 13.6b

社会事業精神／六月十四日満洲国留学生の為に(上)(下)  
14.6・7

事変処理と三民主義／今議会に於ける安藤理事長の論陣  
15.2

追悼の辞 15.4

東亜新秩序の文化的使命 15.7

紀元二千六百年記念東京府社会事業大会に於ける祝辞 15.7  
式辞〔第七回大会〕 16.6

新年頌 17.1

五十嵐喜広

全日本私設社会事業連盟に望む 15.10

伊木有太郎

社事・方面徒然草 10.9・10

池川 清

国民思想の趨向 11.1

チェッコスロバキヤの労働紹介 12.4

歐洲の生活費 12.8

石井敬一郎

少年保護事業の実際 11.3

石本 静枝

社会施設としての産児調節 12.7

磯村 英一

調査機関の拡充と活用 10.7

東京市政の革新と社会事業 11.5

研究部牧委員へ 11.9

ベルリンより(1)(2) 12.3・4

伊藤 武雄

一介・不具の裸身として楽人伍長の心境 12.11

稲村 隆一

農村と産業組合 13.8

今井新太郎

書評・橋本勝太郎將軍著『少年の性格と環境』 18.3

修練会に参加して 18.6

今中 次麿

代議制度の反省 12.12

岩田民次郎

文献より見た我国の養老思想 11.12

岩橋 武夫

盲人保護の将来と社会事業への期待 11.7

ウインフレッド・カリス

労働婦人問題に関する二三の所見に就て 11.8

上山 善治

私設社会事業の検討題目 12.1

牛尾甦生平

御令旨を拝し奉りて 14.6

宇野津外雄

養老院収容者に対し衣料切符の交付を望む 17.6

海野 幸徳

私設社会事業の死活問題 8.6

エールリッヒ・ヒルゲンフェルト

現代独逸に於ける出発点並に到達点としての国家共同社会  
12.7

江草 茂

自由主義の敗北と社会事業 11.6

医療国策と私設救療事業／対話の形式で書かれた論文 11.8

X・Y・Z(生)

選挙粛正と社会事業 10.9

中央公論社出版広告に対する村松梢風氏の推賞文を遶りて  
11.12

半島同胞の飢餓線を行く（東京…大邱） 12.8

エル・エイ・ヘルバート

専門社会事業とは何ぞや？(1)～(4) 8.12、9.1・3・4

エル・ジ・ウッドベリー

中央指針／社会事業記録交換制度 9.5

大内 経雄

今後の社会政策 14.4

就労青少年と厚生施設 14.10

大岡 愛子

錬成会所感 16.7

大河内一男

軍事扶助法の諸問題／「救護」より「扶助」へ 12.12

大阪社会事業協会

関西・社会事業法施行記念懇談会記録 13.7

大坂 鷹司

来りて援けよ 12.9

昭和十六年の社会事業界の回顧 16.12

父と子 17.11

錬成会に参加して 18.6

大谷繁次郎

故武田慎治郎翁を偲ぶ 15.4

大野木克彦

社会事業調査所感 12.1

社会事業法今後の課題 13.10

大林 宗嗣

国家と社会事業 12.4

岡 定六

海野氏の社会事業補助金問題 8.8

岡 弘毅

私設社会事業の財源 (1)(2) 12.4・5

社会事業法今後の課題 13.10

小栗 将江

母性保護運動 10.3

ケースワークについて 10.5

断片 10.11  
越智 天海  
聖恩に感泣す 10.8  
落合 芳子  
ひとり言 10.6  
細民社会の児童と醜業婦よりも悲惨な母性 10.8

〈か〉

角井 義雄  
修練会に参加して 18.6  
香西 敏夫  
米の問題と社会事業 10.11  
華城 → 三輪華城 を見よ  
笠森 伝繁  
農村社会事業に就て 10.12、11.1  
農村社会事業と経済問題 11.6  
農村の一喜一憂と社会事業への期待 12.1  
農村社会事業の根本問題 12.12  
加藤 咄堂  
聖恩洪大 14.1  
河東田教美  
松島正儀君の『私設社会事業家気魄の吟味』を読む 12.5  
進出か後退か！ 12.11  
大会を顧みて 15.5  
昭和十六年の業界を顧みて 16.12  
連盟の再出発 17.7  
厚生思想の教育 17.9  
修練会に参加して 18.6  
社会事業の一元化 18.7  
金子しげり  
母子保護法について 10.10  
金光 康夫（厚生大臣）  
挨拶〔第七回大会〕 16.6  
華北社会事業協議会  
北京市天橋を中心とする貧民調査（上）（下） 17.4・5  
川上 賢叟  
社会事業理念の確保 11.11  
川田貞治郎  
教育社会事業として 8.12  
喜多 順輝  
修練会に参加して 18.6  
北越 戒定  
三陸震災地慰問記 三陸震災海嘯慰問報告（武田慧宏と連名） 8.3  
北村 孝義  
父を語る（1）（2） 8.12、9.1  
城戸幡太郎  
児童の教育的保護について 12.4  
木山 十影  
社会厚生事業は情に在て理にあらず 15.2  
私設社会事業の特性 15.4  
清浦 奎吾（中央社会事業協会会長）  
私設社会事業の創刊を祝す 8.2  
桐原 葆美  
勤労厚生機構の整備 18.8  
金 照明  
現下独逸に於ける出発点並に到達点としての国家共同社会（エールリッヒ・ヒルゲンフェルト著／共訳者・斎藤統） 12.7

独逸社会秩序の構成（1）（2）（ヘルマン・アルタウス著／共訳者・斎藤統） 12.8・9  
帝都に於ける“銃後の護り”に観るもの 12.11  
草間八十雄  
浮浪者の生活実相（1）（2） 13.11・12  
久保寺保久  
連続運動九日間 千葉県社会事業デー 8.12  
精神薄弱児の心理学的分析 11.3  
精神障碍児に於ける妥当なる認識と其適正なる処置／彼等に療護教養上の公平なる機会を与へよ 14.9  
黒正 巖  
経済と社会問題 15.6  
軍事保護院援護局  
戦歿者遺族指導要綱 16.1  
香坂 昌康（東京府社会事業協会会長）  
発刊ヲ祝ス 8.2  
厚生省  
社会事業法案に就いて 13.7  
小島 幸治  
私設社会事業の将来 11.11  
我国最近の救貧立法とその「意義」 12.8  
日本支那救貧書誌年表 12.9  
興水伊代吉  
紀元二千六百年記念本院の植林事業 15.1  
木立 義道  
失業者の協同組合 13.6a  
後藤 文夫（内務大臣）  
祝辞 10.4  
小橋カツエ  
社会事業の教育的使命 11.6  
小林 政助  
米国に於ける共同募金の実況（上）（下） 8.8・9  
小山 松吉（司法大臣）  
全日本私設社会事業連盟機関紙ノ発刊ヲ祝ス 8.2

〈さ〉

斎藤 統  
現下独逸に於ける出発点並に到達点としての国家共同社会（エールリッヒ・ヒルゲンフェルト著／共訳者・金照明） 12.7  
独逸社会秩序の構成（1）（2）（ヘルマン・アルタウス著／共訳者・金照明） 12.8・9  
斎藤 久吉  
修練会に参加して 18.6  
斎藤 実  
講演 10.4  
佐伯 祐正  
社会事業の旅 16.3  
佐々木祐俊  
祝辞 8.2  
佐々木登喜夫  
斜視片貌 10.11  
三田谷 啓  
社会事業各分野を通して要望する児童保護問題 10.10  
新春を迎へ私設社会事業に望むもの 12.1  
椎尾 弁匡  
日本社会事業の進路 12.7  
志賀志那人  
隣保事業の再検討 12.4

篠崎 篤三

私設社会事業将来の開拓(1)~(5) 9.4~8

下田広次郎

帰郷だより／書簡一束 18.6

下松 桂馬

社会事業の民有公営と公有民営（私設社会事業の再検討）  
12.4

下村 海南

病毒国日本の使命 12.1

社会事業新聞社

私設社会事業の創刊を祝す 8.2

社会事業中央交換所

交換事業を語る 9.10

正田 淑子

満洲国社会事業視察 9.7

世界紅万字会 9.9

傷兵保護院

傷痍軍人は我等の手で 13.7

傷痍軍人は我等の手で／機械や工具を改造してでも傷痍軍人は元の職場へ 13.9、13.11

新明 正道

社会事業的法制の進向 12.3

杉山元治郎

農村隣保事業に対する私見 11.8

無産運動の目的と社会事業の関係 12.7

鈴木生

児童虐待防止法実施に就て 8.8

鈴木喜三郎（輔成会会長）

発刊を祝す 8.2

鈴木 遷吉

職業紹介事業に就て 11.1

隅土 満

第八回全国社会事業大会「批判の一齣」 10.11

関谷貞三郎 貴族院議員

社会事業の普及と私設社会事業の助成増額に関する質問（貴・予算委質問） 12.4

全国私設社会事業連盟（全私社連盟）

支那事变銃後の後援並に扶助の徹底強化に就て 12.9

日満社会事業連盟本結成ニ関スル経過報告 13.1

急告・神戸私設団体を救へ！ 13.9

全日本私設社会事業連盟調査部

私設団体従事員待遇調査票に就て 9.3

私設社会事業経営状況 15.10

全日本私設社会事業連盟編輯部（単に「編輯部」としたのもの含む）

軍事扶助法の栞 12.9

各地公私設軍人遺家族援護団体の動き 12.9

社会事業法案の審議を遶りて／附・内務省原案など関係資料 13.1

社会事業法案愈々発表さる！／代議員会を中心とするその後の運動経過／附・関係資料 13.2

社会事業法案の審議／衆議院本会議・委員会抄録(1)~(5) 13.6a・7・8・10・11

社会事業法案運用に対する当局の用意 13.7

新社会立法の解説／改正職業紹介法（1） 13.7

拓け・満洲！／送れ・花嫁 13.9

新社会立法の解説／国民健康保険法の解説(1)~(3) 13.10~12

<た>

高木武三郎

三井の美挙を私設社会事業の陣営から眺めて 8.11

昭和九年度私設社会事業を顧みて 9.12

私設社会事業の財源問題(1)(2) 11.2・3

日満不可分精神の具現と農業移民 11.10

昭和十一年業界回顧 11.12

国民精神総動員と社会事業 12.10

時局に際し社会事業界を省る 13.9

上海の明暗相と社会事業 14.11

新体制と社会事業人 15.8

佳き歳を送る 15.12

社会事業研究会を観る 16.10

新春漫語 17.1

高倉新一郎

新体制と札幌遠友夜学校 16.1

高橋 重蔵

大会雑記／京都 15.6

高山 秀雄

修練会に参加して 18.6

竹内 愛二

科学的社会事業理論の確立へ 11.10

武田 清子

錬成会に臨んで 16.10

武田慎治郎

中央社会事業委員会委員の命を拝したる余の「三空感」 13.9

武田 慧宏

司法保護事業と私設社会事業連盟 8.2

三陸震災地慰問記 三陸震災海嘯慰問報告（北越戒定と連名） 8.3

「司法保護法」制定の要望 9.1

武田 真量

母子保護法の実施に際して 12.10

竹中 勝男

転換期に於ける社会事業 11.7

私設社会事業への要望 12.5

辰巳 善雄

保育の実際に見たる貧困虚弱児（学生研究発表） 12.12

田中 泰輔

西日本社会事業団体殊に育児事業団体を見学視察しての感想 9.1

田辺 熊蔵

帰郷だより／書簡一束 18.6

谷川 貞夫

経済難局と社会事業助成に就て 8.11

隣保事業管見 11.2

協議会風景 11.4

農山漁村救済更生問題と私設社会事業 11.5

続／業界徒然草 11.9

社会法と私設社会事業 12.2

若葉薫る金城下に開かれし全私社大会 12.6

大会余語／第五回全私社大会の反応と次期仙台大会への期待 12.7

戦時社会事業の方途 12.9

私設社会事業の行衛 13.2

『ケースワークの理論と実際』／竹内愛二氏の近著を読む 13.9

満洲国に於ける天主教の社会事業 17.7

主張・戦時厚生事業の展開／現実を規正するもの 18.1  
時言・隣保厚生圏の郷土的設営 18.3  
主張・社会事業指導精神の展開 18.6  
主張・社会事業の本来性と国策性 18.7  
主張・農村社会事業の方途／その在り方の一側面について  
18.8  
主張・国内体勢強化と中央機関の一元化 18.9  
主張・決戦即応の配置 18.10

**谷山 恵林**  
補習教育と社会事業に於けるその地位 11.9

**千葉 千代**  
錬成会へ参加しての感想 16.7

**津田 正夫**  
満洲遊記 11.7

**土屋 大助**  
農村更生問題 12.12

**津戸 徳治**  
転失業者と社会事業 16.5

**綱脇 竜妙**  
救癪事業の将来 12.3

**角井 義雄** \*「か」の欄を見よ  
救癪事業の将来 12.3

**鶴見欣次郎**  
風水害地に使して 9.10  
山内猪右衛門の妻 10.1  
国領夏期児童転住所の事ども 10.8  
土浦の勤王僧と吉水憲寿氏 10.9  
逝ける峰田一步翁 10.11  
小講談・細川ふとる出生の門松(上)(下) 11.1・2  
共産部落見聞記(1)~(3) 11.7~9  
杉の村ユートピア 11.11  
孤嶋飛嶋を語る 11.12  
社会講談・牛盗人 12.2  
北支皇軍慰問紀行(上)~(下) 13.1・2・11  
水難紀行 13.9  
中支皇軍慰問紀行(上)~(下) 14.1・3・4  
キリストの遺跡／青森県戸来村の話(上)(下) 14.11・12  
話道托鉢札幌紀行 15.2  
話道托鉢嶋々だより 15.6・8  
秋田音頭の実際化 15.11  
連絡奉公・北海漫語 16.4  
錬成余談・日光往来 16.8  
生駒山錬成会不行の記 16.10  
馬蹄鉄幸運物語 17.1  
安針塚へ詣るの記 17.5

**鄭 寅学**  
社会防衛より見たる麻薬中毒 11.3  
半島少年保護問題に就て 12.11

**鉄谷生**  
無題 11.9  
無題 11.10

**鉄谷長太郎**  
爆弾建議 是?非? 11.5  
二月ノート 12.2  
救療法の制定に就て 12.8

**東京三火会・大阪二五会**  
ディケンス物語り広告に関する声明書／中央公論社並びに  
村松梢風氏の出版広告文の認識不足を駁す 12.2

**轟 三四郎**  
私設社会事業／質の転換 12.9

**富田 象吉**  
公私社会事業の分野に関する私見 11.1  
全国社会事業協議会を顧みて 11.5

**富永 理**  
生活ノートから 12.11

〈な〉

**永井 亨**  
保健社会省の設置について／各国の現状 12.10

**中川生**  
医療保護事業に就て／結核、性病を中心として 11.2  
京都御所拝観記 11.4

**中川 幽芳**  
大衆の要望する救療法に就いて 11.5  
児童保護(女児を主とした)の立場より防犯施設の拡大と現  
行刑法に就ての私見 11.8  
我国救癪史の決定線、三井報恩会の癪撲滅献金に就いて  
12.1

**長田 穂波**  
血族開放の一面 12.7

**中田 隼郎**  
私設社会事業家の精神的態度 12.5  
新発足に就いて 17.9  
争ひ無き世界 17.12  
性に率ふ 18.2  
命令の及ばぬ世界 18.3  
課題／厚生事業理念の攻究並に建設 18.5

**中西 雄洞**  
東京市会に於ける社会事業に関する質問 9.5

**中村 三徳**  
公私社会事業の連絡、協調 10.10

**中村 遥**  
水上隣保事業将来への期待 11.3  
社会事業国策性の再検討 18.9

**中山 理々**  
至尊の御楯 17.12  
書評・安藤正純氏の近著『政界を歩みつゝ』を読み 18.3

**灘尾 弘吉**(厚生省保護課長)  
講演／社会事業法に就て 13.6b  
講演／社会事業法に就て(要旨) 13.7

**鍋田 勇吉**  
主事就任の御挨拶 18.1  
随感・今様松下村塾 18.2  
随感・修練会落穂集 18.6  
随感・標語の価値 18.9

**生江 孝之**  
農村指導機関としての隣保事業 11.3  
新春を迎へ私設社会事業に望むもの 12.1

**難波 紋吉**  
科学的社會事業への再反省 12.2

**二木 謙三**  
食物と国民性(1)(2) 18.1・2

**西脇 芳郎**  
養老事業実務者の態度 14.12

**丹羽 昇**  
医療保護事業当面の諸問題 18.1

**乃木 惇**  
国民強健化と性病対策 16.5

〈は〉

橋本勝太郎

- 科学振興特に精神科学に一投石 16.3
- 事変下に於ける不良少年の激増はどうすれば良いか 16.7
- 不良とは何んぞや 17.8
- 雑誌『少年保護』一月号を読み 18.1

長谷川良信

- 社会事業の大衆性に就いて 9.7
- 時局と民間社会事業の重要責務 14.9
- 児童保護会議を終へて 14.10
- 全連の回顧と展望 16.11

浜田 格

- 社会事業と映画 11.1

浜田 光雄

- 大阪に社会事業大会を開催せよ 10.10
- 農村社会事業に就て 11.3
- 協和事業界に望む 12.11
- 思ふまゝ 16.9
- 社事雑感 17.11
- 時言・我等の陣営 18.2
- 生るべき全国的統制機関 18.7
- 鳥取・島根を見舞ふ 18.9

早崎 八洲

- 公私社会事業の脈拍打診 10.1
- 社会事業大会ファンタジア 10.9
- 春と社会事業 11.1
- ゾムママブリア 11.10
- 社会事業とソロバン 12.8
- 社会事業と連絡 16.8

林 歌子

- 開拓者の社会事業観／事変に処して 12.10

林 新助

- 山県県「鳥越共働組合」を見る／農村社会事業の組合的経営の一例として 13.7

林 蘇東

- 独逸に於ける精神薄弱児童養護施設／トリウベル治療教育院に就て 16.4

林 文雄

- 社会事業の新構想 16.9

早田 正雄

- 社会事業の技術以前と技術に就て 12.3

原 新太郎

- 満洲だより(第一信) 11.12

原 善太郎

- 里子事業 17.9
- 修練会に参加して 18.6

姫井 芳堂

- 農村隣保事業の将来 11.5
- 隣保事業は果して行詰れるや 11.12
- 社会事業界の回顧と展望 17.1
- 斯業戦線の隘路 18.10

ひらの生

- 東西とびある記 16.10

平野 義一

- 就任の挨拶 14.3
- 緑林に風薫る大満洲／慶祝建国十周年全国社会事業大会の概況 17.7
- 満洲大日向村を観る 17.9

平野 草生

- 厚生省と社会事業 16.11

平野 政夫

- 方面委員制度革新の好機／選挙粛正の叫びと委員改選期を前にして 10.9

広崎真八郎

- 産業報国運動と厚生事業 16.1

フーゴー・ラツサル

- 新国家に於ける福利保護 12.3

福岡 文芳

- 隣保協同体と社会事業(上)(下) 14.11・12

福田 愛蔵

- 米国共同募金の最近の情勢 9.9

藤井 円雄

- 「キャンプ」るぼるたーじゅ 13.9

藤田 逸男

- 凡ゆる事象を通し社会は軽費診療を要求してゐる 12.4

藤田進一郎

- 国民生活安定と結城財政 12.3

船本 数江

- 法の期待する母子保護施設と其の現況 12.9
- 再教育(?)論 12.11

船山 信一

- 社会事業の思想的本質の問題 12.10

古坂 明詮

- 農村指導機関としての隣保事業 11.3
- 書評・富田愛次郎著『日本社会事業の発達』を読み 18.2

古田誠一郎

- 関西女子従事員錬成会／指導員よりの願ひとたわごと 16.9

不老 憐司(生)(不老隣生)

- 米国の貧民窟行脚(1)~(3) 8.7・11・12
- 社会事業教育運動に就いて 9.11
- 近畿の旅路から 11.4
- 満鮮の旅路から(1)~(10) 11.10~12、12.1~3・5・7~9

ヘルマン・アルタウス

- 独逸社会秩序の構成(1)(2) 12.8・9

編集部 → 全日本私設社会事業連盟編集部 を見よ

傍観子

- 大会風景 9.2

峯南(生)

- 少年法の一家言 8.5
- 保護雑話 10.11

細野 尚是

- 人的資源と妊娠の摂生 16.3

本荘 茂

- 我国社会事業の特質／特に救護制度を中心に就て 12.4

奔走子

- 第五回全国私設社会事業大会其の後の動き 12.7

本多辰次郎

- 天長節の意義及由来 14.4

本谷 久二

- 皇道主義社会事業の提唱(投稿) 11.11
- 社会事業の理念と技術 12.2

〈ま〉

前田 利定

- 私設社会事業創刊の祝辞 8.2
- 民間社会事業と社会連帯責任に就て 8.6

牧 賢一

- 「社会事業デー」の経過と二三の批判 8.5
- 社会事業助成法の制定に就いて 8.10
- 第二回全国社会事業家大会を反省す 9.2
- 母性保護法制定への要求 9.9
- 社会事業理論の貧困 10.7
- 社会事業大会常設委員会を組織せよ 10.10
- 中央社会事業協会考案 全国社会事業大会常設委員会に絶対反対す 11.3
- 霏雪下の私設社会事業大会を視る 11.4
- 非常時社会事業界の問題を拾って 11.7
- 帝都に於ける私設事業の外観は何を語る？ 11.9
- 第三回国際社会事業大会の概況〔抄訳〕 11.10
- 私設社会事業の権威の為に 12.1
- 私設社会事業連盟の将来性に就いて 12.3
- 時局社会事業談叢四題 12.7
- 社会事業会館へ註文する 12.8
- 銃後の社会事業 12.9
- 決戦厚生事業の一つの構想／新潟県直江津町の新しき試み 18.9

牧野 修二

- 吾等が全連の拡大強化の為に／殊にその経済的打開の問題 9.6
- 何故に私設を抹殺するのか／全私連の意義を強化せよ 12.4

正木ひろし

- ひらめき 18.1

松尾 純雄

- 再編成時代／私設の役割 16.9

松岡 良友

- 司法保護の教化的意義 11.12
- 武田君の死を悼む 15.4
- 司法保護事業に関し厚生司法当局に要望す 15.6

松下 余市

- 「少年保護」を中心とする応用心理学会を聴く 16.9

松島 正義

- 救護施設現状への理解／行詰りを越へて 11.1
- 私設社会事業家気魄の吟味 12.3
- 満洲より帰って 17.7
- 私設社会事業に於ける致命的検討課題 18.8

松田竹千代

- 保健社会省に望む 12.10

松本 征二

- 生活標準額検討の必要 11.11

丸山 鶴吉

- 発刊の辞 8.2
- 社会事業デーに就いて 8.5
- 震災の私の思ひ出 8.9
- 北海道の旅 8.10
- 冠頭言・念頭の辞 9.1
- 非常時局に直面して建国の大精神を憶ふ 9.2
- 年頭の辞 10.1
- 皇紀二千六百年記念事業を起せ！ 10.3
- 講演 10.4
- 亡き母を憶ふ 10.6
- 冠頭言・年頭の辞 11.1
- 満鮮の旅 11.11
- 冠頭言・年頭の感 12.1
- 私設社会事業国庫助成増額／社会事業助成法制定（貴・予算委質問） 12.4
- 非常時局下の戊寅年頭感 13.1

社会事業法の制定に当りて 官民の協力を要望す 13.4

退任の御挨拶 13.4

(判読不能)

□せこの熱情と体験を 18.6

三浦かつみ

- 私設社会事業従業員の待遇について 10.8
- 近頃感じた問題 11.9
- 医療事業界の回顧と展望 12.2

三谷 此治

- 辞任の挨拶 14.3

峯南（生） \* 「ほ」の欄を見よ

宮古 二郎

- 米国の私設社会事業(上)(下) 12.3・4

三好豊太郎

- 社会事業研究の指標 13.2

三輪華城（華城）〔三輪政一〕

- 横浜家庭学園を見る 8.9
- 畏し紀元の佳節に時艱克服の大詔渙発／内閣恐懼告諭を発す 15.2
- 南進の雄図 15.6
- 対支社会事業に就て 16.3
- 人口問題の将来と吾徒の分野 16.4
- 決意を望む 16.11
- 天語風声 16.11
- 大東亜戦争と社会事業徒の覚悟 16.12

三輪 政一

- 紙芝居改善の急務 8.11
- 法均尼の生涯／千二百年前の育児事業を偲ぶ 14.5
- 光明皇后様の御慈徳／尊貴の御身を以て親しく救護に御手を下し給ふ 14.6
- 鉄眼禅師を偲ぶ／罹災救助飢民救済に血の資金を投じて惜まらず 14.7
- 石井十次君を追憶す／偉大なる孤児の慈父 14.9
- 行基菩薩／創見卓識の社会事業家 14.10
- 白川楽翁公の偉業／社会事業精神に満ちた政治家 14.11
- 雄略天皇の御慈愛心／小子部栖軽の孤児院 14.12
- 傑僧渡辺海旭先生を追慕す／社会事業界の画期的指導者 15.1
- 小川滋次郎博士を偲ぶ／温情溢れた社会事業指導者 15.2
- 了翁禅師の聖業／幼児の悲惨さを忘れなかった高德 15.4
- 社会事業恒久財源の確立と資金法制定の要望 15.8
- 原田二郎翁の人格／積善会は如何にして出来たか 15.8
- 曠古の式典に参列して 15.11
- 片山国嘉博士を追慕す／徹底せる「酒害予防運動」者 15.12
- 三浦梅園の隣人愛／学ぶべき隣組精神 16.1
- 岡田寒衆の人口政策／百五十年前の多子家庭奨励 16.4
- 社会事業の統合問題に就て 16.10
- 風呂屋の元祖重源／司法保護の大先覚 16.10
- 瓜生岩子の廃品回収運動 16.11
- 日華社会事業連盟結成に関する経過概要 17.8

無堂生

- 社会事業と共同募金に就いて(1)(2) 8.12、9.1

村松 義郎

- 「私設社会事業連盟とは何ぞや」と言ふ事に就いての私見 10.8
- 第七十議会与国民生活安定費に就て 12.1

メリー・ヴハン・クレツキ

- 米国及加奈陀両国の直面しつつある労働階級に投影する最低生活標準の恢復（全米社会事業大会ノ歓迎挨拶） 10.8

本山 彦一

- 月報の発刊を祝して（遺稿） 8.2

守屋 栄夫

私設社会事業月報の創刊を祝して 8.2

〈や〉

安田徳太郎

日本の社会事業 12.11

藪 季光

私設社会事業雑感 15.4

山内 修謙

家庭人格の構成に就て 12.5

山影 陰士

保健社会省の設置を顧る 12.8

山口 正

社会事業と農村教育 11.3

社会法と社会事業 12.2

戦時社会事業の国際性 12.11

山田 道雄

社会事業従事員の生命線（投稿） 11.8

山本 達雄（内務大臣）

全日本私設社会事業連盟月報の創刊を祝す 8.2

山本 正男

融和事業の趨勢 11.1

山川 菊栄

保健政策への希望 12.10

憂国生

今次事変と社会事業 12.8

遊佐 敏彦

労働児童の就学問題 11.3

横田 忠郎

託児所の文化的使命と従事者への希望 11.12

亡母追善寄付の言葉 15.2

画期的戦時立法／国民医療法案への期待 17.3

横地素之進

英領北ボルネオについて(1)(2) 9.7・8

吉田源治郎

隣保事業の動向と其使命の検討 11.2

農村更生を目指す社会事業の新方面の開拓 12.11

芳野 芳雄

宿泊事業雑考 17.4

簡易旅館へ宿泊する人達のことを考へると 17.7

吉水 松巖

優生運動に就て 8.3

優生運動に就て（遺稿） 8.4

吉村 敏男

修練会に参加して 18.6

〈ら〉

連盟調査部 → 全日本私設社会事業連盟調査部 を見よ

〈わ〉

若松 文蔵

吾が事業を語る／本院の育児事業に就いて 11.9

脇田 悦三

錬成会を省みて 16.10

修練会に参加して 18.6

随感・茶碗の醸出 18.10

綿貫 哲雄

父と子 16.3